

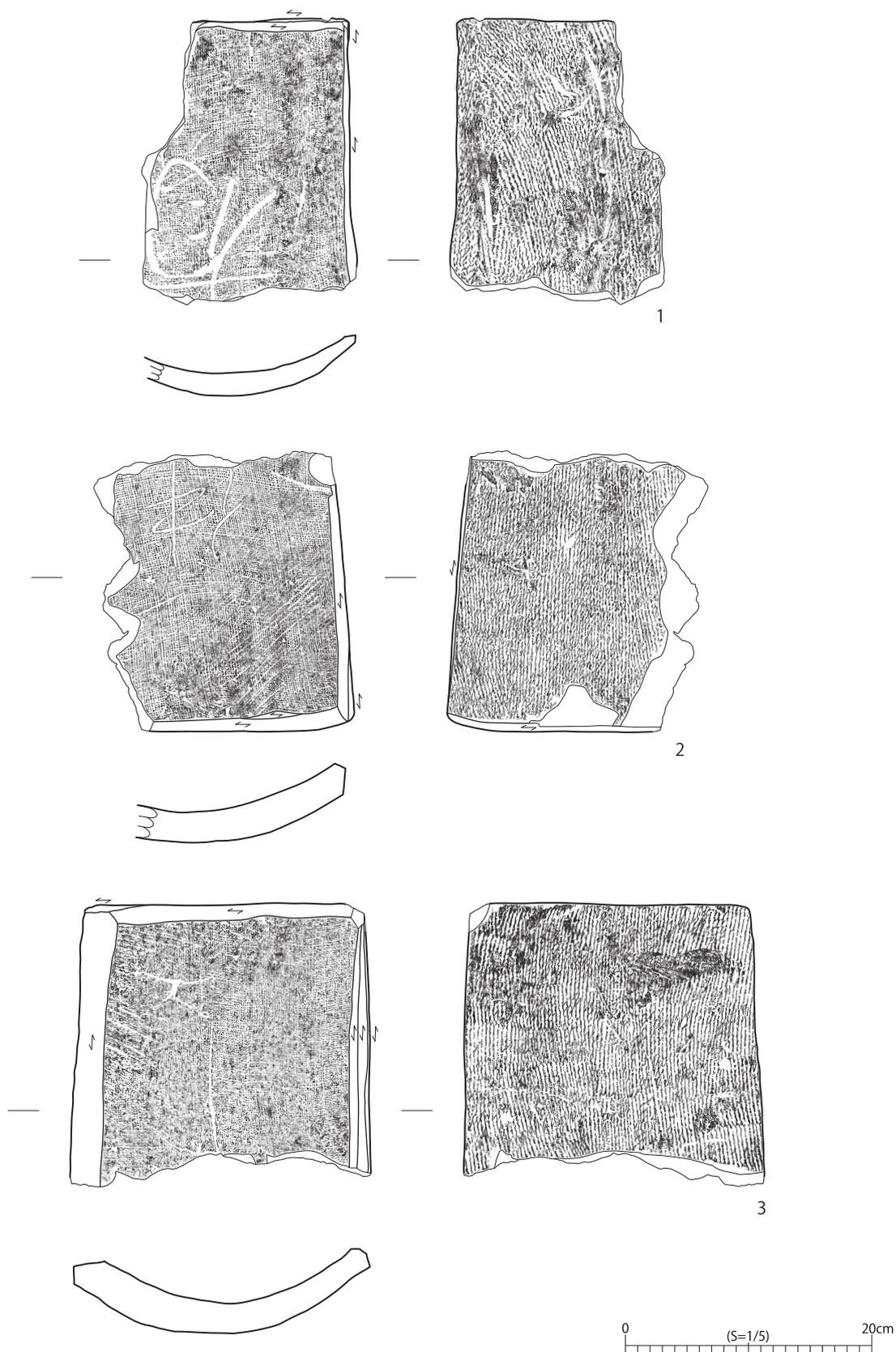
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	7	平瓦	36.0	21.1 (23.9)	10.7 (22.8)	2.9	-	-	凹面：10YR 4/1 凸面：N 5/0	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→圧痕 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「丸」	G-018	4-6 103
2	1号窯跡	7	平瓦	31.3+	8.4 (24.2)	-	2.3	-	-	凹面：10YR 4/1 凸面：10YR 4/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「井」	G-019	5-1 101

第32図 1号窯跡出土遺物(10)

別6層：B期の前庭部・灰原に広がる炭化物を多量に含む層（以下、本章ではこの種の層位を燃料残滓層と称する）。  
大別7層：A期の燃焼部・前庭部・灰原に広がる燃料残滓層。

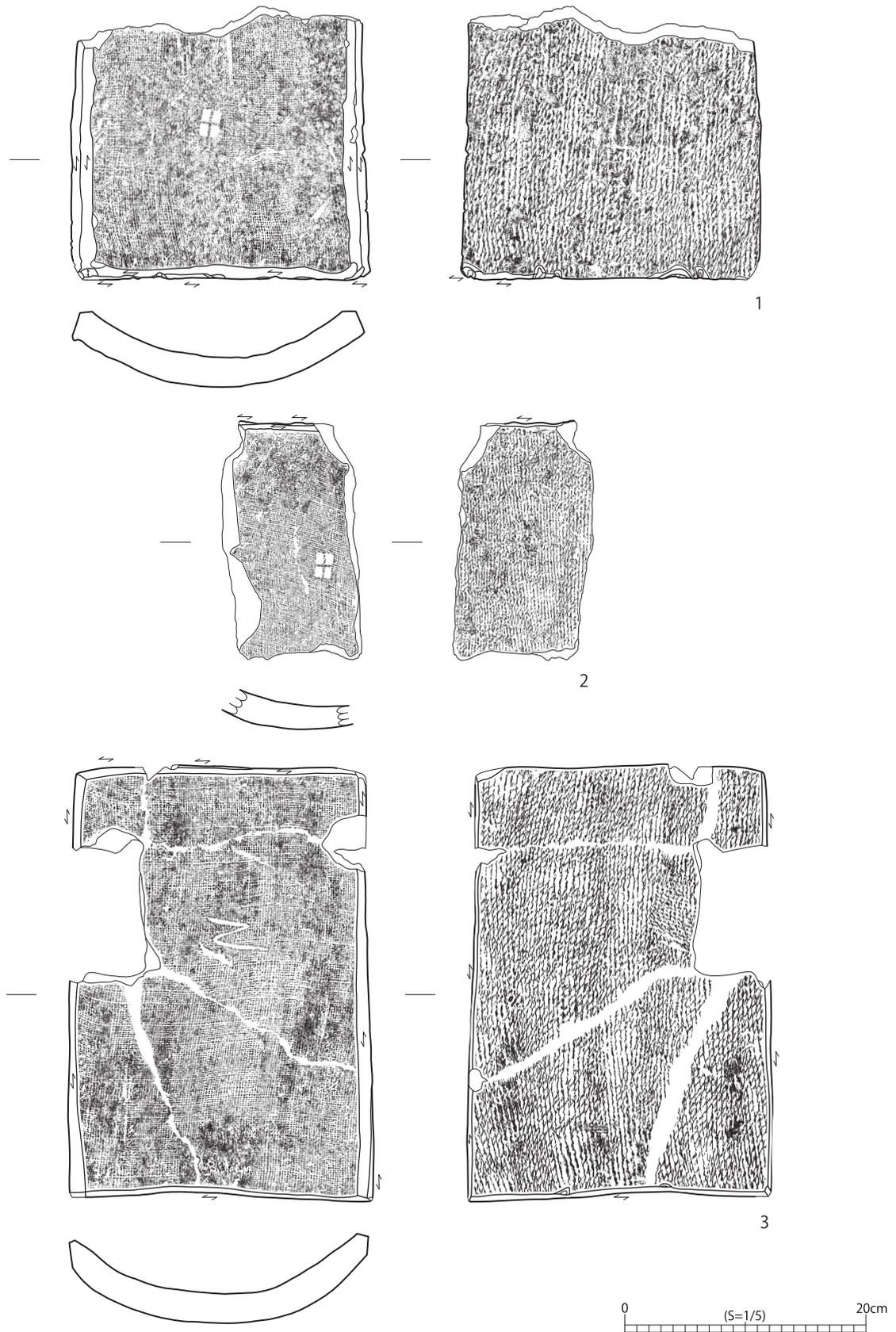
【灰原】 前庭部の範囲と、ほとんど重なる。範囲は長さ4.2m、幅2.8m、厚さ10cmである。上層・下層で炭化物の相違が認められた。上層は堆積層で把握した大別4・6層に相当し、4層は窯体からの流出堆積層であり、6層はB期の燃料残滓層である。下層は大別7層に相当し、A期の燃料残滓層である。A・B期の中間には窯体から続く流出堆積層が認められる。

【排水溝（2号溝）】 窯跡の周囲には2号溝が窯体の西側から北側を通り、東側から緩やかに曲がって南南西に延び



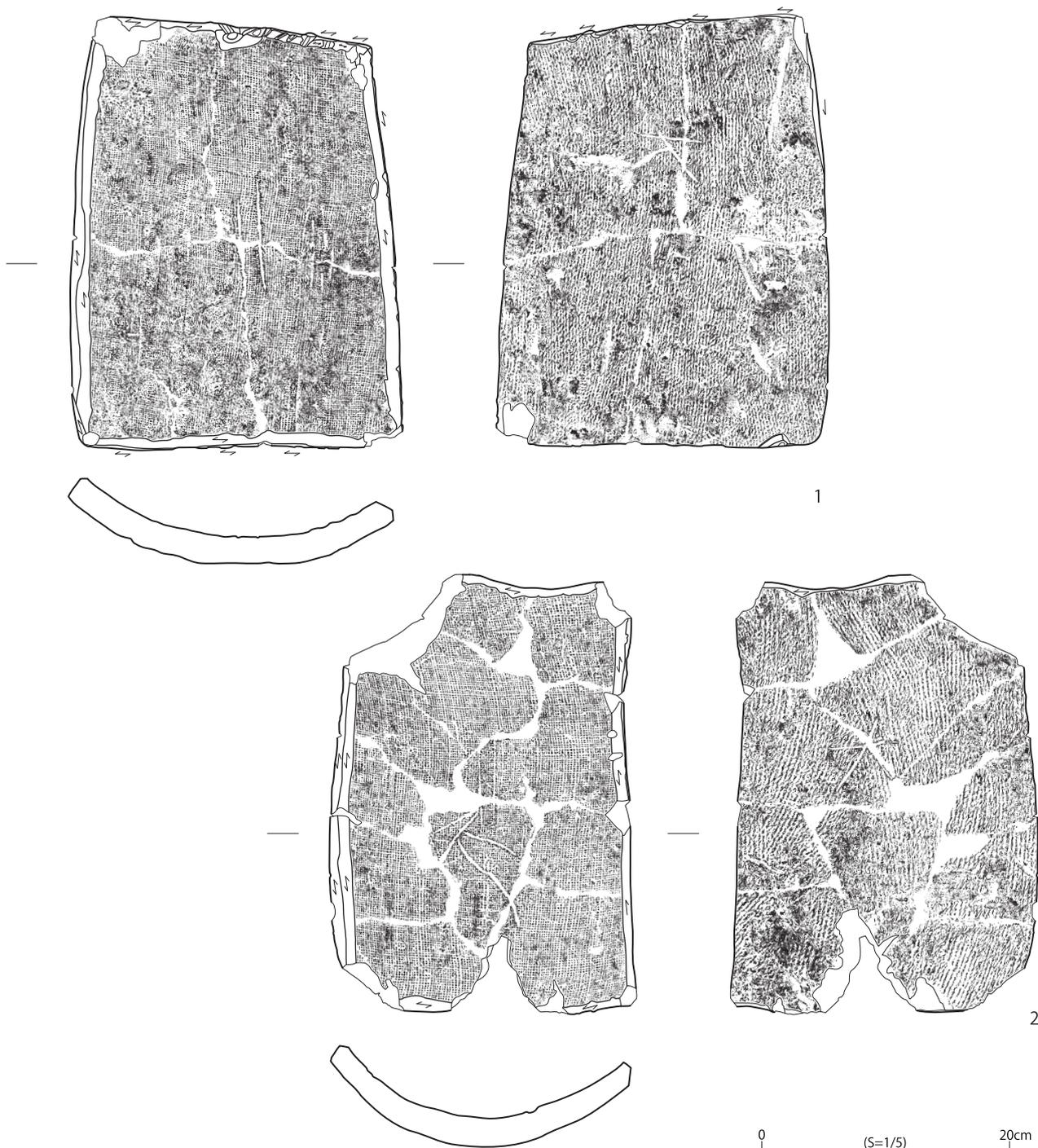
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	7	平瓦	23.4+	-	11.4+	1.9	-	-	凹面：10R 5/1 凸面：7.5YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「有」	G-020	4-2 102
2	1号窯跡 灰原	7	平瓦	22.7+	16.1+	-	2.8	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：5YR 6/3	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「枠」×3	G-021	4-5 101
3	1号窯跡 灰原	7	平瓦	23.2+	-	22.7	3.2	-	-	凹面：10YR 5/2 凸面：10YR 5/2	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「1」	G-022	5-2 104

第33図 1号窯跡出土遺物(11)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 灰原	7	平瓦	22.8+	23.4	-	2.6	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：7.5YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ→広端面棒状圧痕 凹面：押印田	G-023	5-3 98
2	1号窯跡 灰原	7	平瓦	19.9+	-	6.8+	2.3	-	-	凹面：5YR 5/1 凸面：7.5YR 5/1	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：狭端面ヘラケズリ 凹面：押印田	G-024	5-4 98
3	1号窯跡	4	平瓦	36.5	25.1	23.7	2.6	-	-	凹面：7.5YR 7/2 凸面：7.5YR 6/3	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「Z」	G-025	5-5 102

第34図 1号窯跡出土遺物(12)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	4	平瓦	35.3	23.0 (26.1)	22.1	2.4	-	-	凹面：N 5/0 凸面：N 5/0	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：細叩き→一部ヘラケズリ 周縁：ヘラケズリ→ 広端・狭端面圧痕、狭端面棒状圧痕 凹面：ヘラ書き「11」 凸面：ヘラ書き「大」	G-026	6-1 102 103
2	1号窯跡	4	平瓦	35.3	17.5 (23.6)	11.0 (23.1)	2.4	-	-	凹面：N 5/0 凸面：N 4/0	凹面：布目痕 凸面：細叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「11」、ヘラ書き解説不明 凸面：ヘラ書き「大」	G-027	6-2 102 103

第35図 1号窯跡出土遺物(13)

ている。本窯跡に伴う排水溝と考えられる。溝の規模は、場所によって大きく異なっている。1号窯跡の西側から北側では幅2.2～5.2mで、深さは検出面から30～65cmである。東側では、幅1.3～2.0mで、深さは0.8～1.1mである。南南西の調査区外に延びる部分では、幅20～35cmで、深さは10～30cmである。底面に凹凸は認められず、屈曲する部分から西側と南側へ傾斜している。堆積層は、細別7層を確認した。すべて周囲からの流入堆積層で、6層は焼土を主体とする。

【出土遺物】 丸瓦・平瓦・棟平瓦・鬼瓦及び、須恵器・土師器・石製品（砥石）が出土している。総破片数



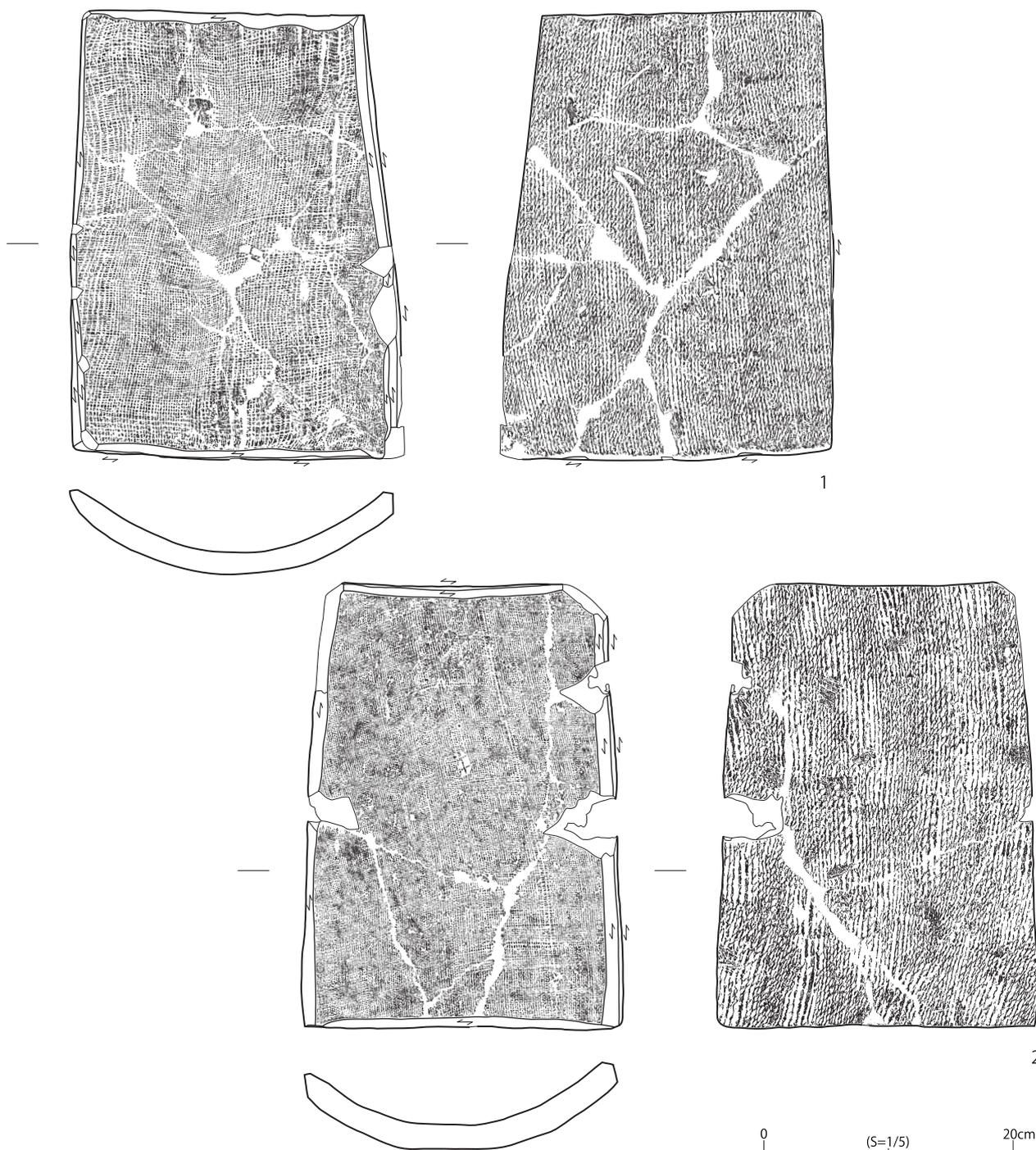
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	4	平瓦	37.6	24.5 (26.1)	23.2 (25.7)	3.3	-	-	凹面：7.5YR6/2 凸面：10YR5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ケズリ→圧痕 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「有カ」	G-028	6-3 102
2	1号窯跡	4	平瓦	34.1	23.2	20.1	2.0	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印	G-029	7-1 99

第36図 1号窯跡出土遺物(14)

は 3821 点で、80 点を図示した。大別 1～3・6・7・10 層から丸瓦・平瓦、大別 4 層から平瓦、大別 5 層から丸瓦・平瓦・棟平瓦・土師器、大別 8 層から丸瓦・平瓦・土師器が出土している。大別 9 層と床面直上から、遺物は出土していない。排水溝から丸瓦・平瓦・鬼瓦及び、土師器・石製品(砥石)が出土している。1 層は平瓦、3 層は丸瓦、4 層以下は平瓦を主体とする。

【整地層・Ⅲ層黒色化部分の調査】(第 18・19 図)

窯跡は現状保存となり、整地層・Ⅲ層黒色化部分の調査では窯体を断ち割っていない。窯体を保存するために都市計画道路の設計が変更され、本窯跡付近に橋脚が設置されることになり、窯体周囲の土層の調査を実施したが、



番号	遺構名 クリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当 長(cm)	瓦当 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	4	平瓦	36.4	26.7	22.5	1.9	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 6/4 周縁：ヘラケズリ	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-030	7-2 99
2	1号窯跡	4	平瓦	36.1	25.5	7.6 (22.2)	2.3	-	-	凹面：10YR 5/3 凸面：10YR 6/3 周縁：ヘラケズリ	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-031	7-3 100

第37図 1号窯跡出土遺物(15)

工事による影響を受けるⅢ層被熱範囲の外側のみを調査対象としたため、窯体・掘方・整地層・Ⅲ層黒色化部分相互の関係は明確には把握できなかった。

橋脚は窯体の東側と西側に敷設されることから、橋脚間の南側を除く三方に①～③トレンチ、焼成部から前庭部を通す中軸延長線上に④トレンチ、②・③トレンチにそれぞれ直交する⑤・⑥トレンチ、焼成部・隔壁部・燃焼部に直交する南北方向に⑦～⑨トレンチを設定した。整地層Eは、トレンチを設定せず単体で調査した。

①トレンチ：整地層Bと、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	4	平瓦	37.2	12.3 (25.7)	23.0	3.0	-	-	凹面：7.5YR 5/1 凸面：N 4/0	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き解説不明	G-032	8-1 105
2	1号窯跡	4	平瓦	30.4+	-	20.8	2.8	-	-	凹面：10YR 6/2 凸面：10YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「く」	G-033	8-2 104

第38図 1号窯跡出土遺物(16)

- ②トレンチ：整地層 D と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ③トレンチ：整地層 A と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ④トレンチ：整地層 B・F と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ⑤トレンチ：Ⅲ層黒色化部分を確認した。
- ⑥トレンチ：Ⅲ層黒色化部分を確認した。
- ⑦トレンチ：整地層 D・F・G と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ⑧トレンチ：整地層 D・F・G と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ⑨トレンチ：整地層 G と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	3	平瓦	37.3	27.2	21.5	2.7	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：10YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ケズリ 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-034	8-3 99
2	1号窯跡	1	平瓦	36.1	24.6	7.1 (23.2)	2.6	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-035	9-1 98

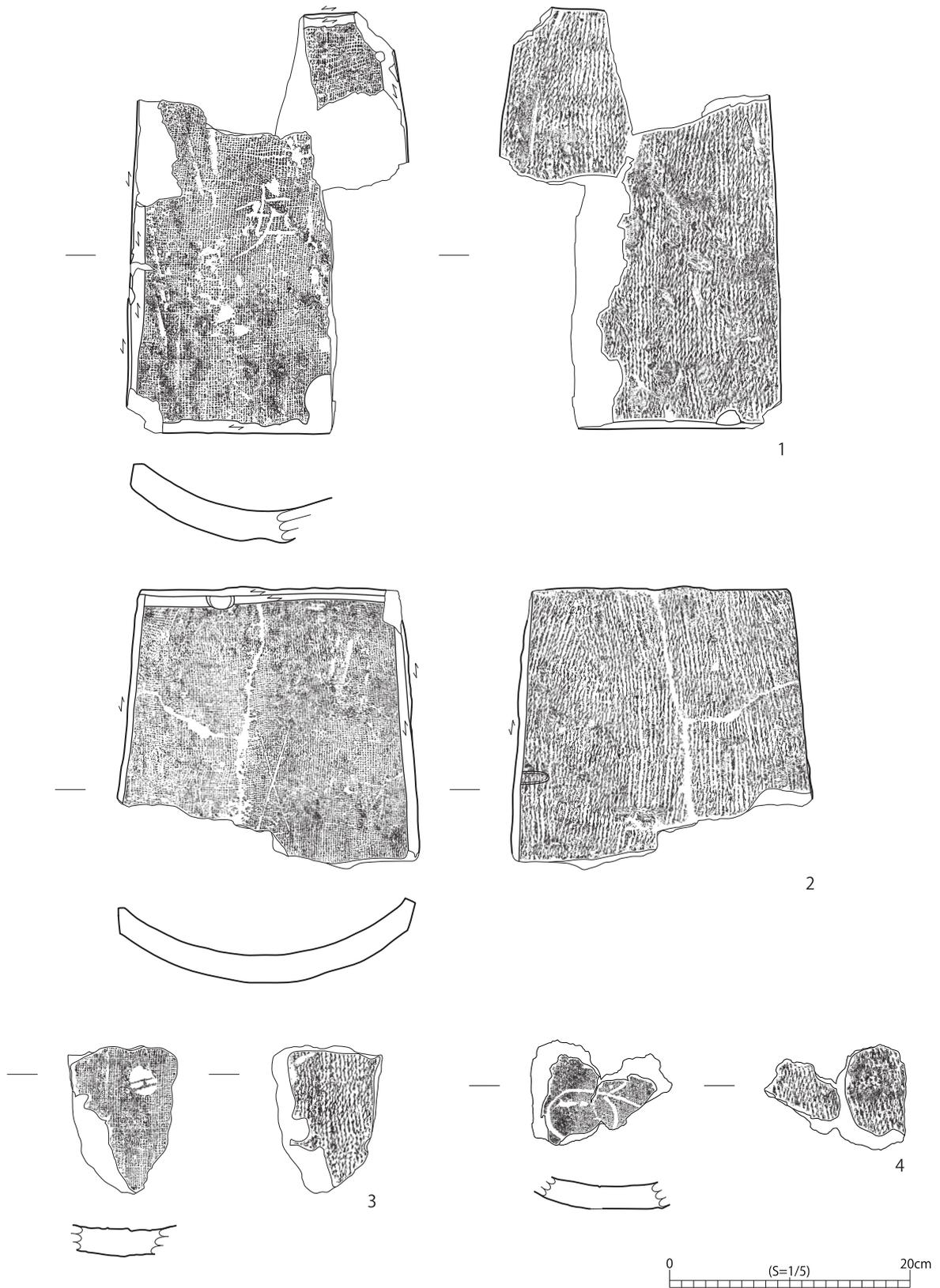
第39図 1号窯跡出土遺物(17)

**整地層 A**：範囲は、長軸 1.1m、短軸 80cm、厚さ 10cm の不整形である。下面はほぼ平坦である。明黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 B**：範囲は、長軸 4.7m、短軸 1 m、厚さ 10cm の不整形長楕円形である。下面はほぼ平坦である。明黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

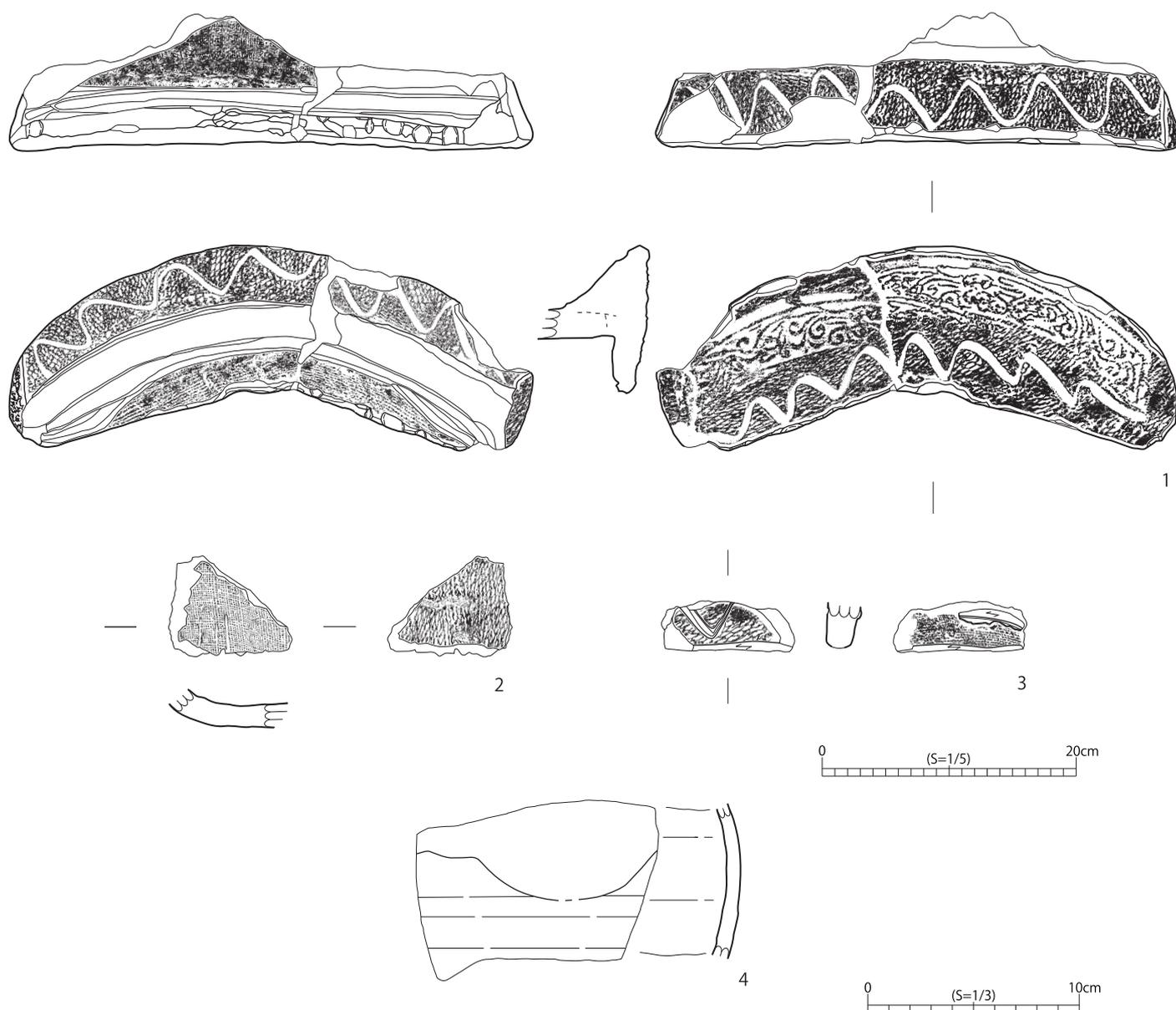
**整地層 C**：平面でのみ確認した。範囲は、長軸 2.1m、短軸 50cm の不整形である。にぶい黄褐色砂質シルトの層でⅢ層を覆う。

**整地層 D**：前庭部と重複する部分は、その堆積層下で確認した。範囲は、長軸 6.8m、短軸 4.7m、厚さ 10～



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	1	平瓦	35.4	14.5 (24.5)	4.3 (20.9)	2.7	-	-	凹面：7.5YR 7/3 凸面：7.5YR 7/3	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 凹面：ヘラ書き「安」	G-036	9-2 104
2	1号窯跡	1	平瓦	23.8+	-	21.3	2.3	-	-	凹面：N 4/0 凸面：N 4/0	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ→側面・狭端面圧痕 凹面：ヘラ書き「×」	G-037	9-3 104
3	1号窯跡	1	平瓦	12.4+	9.2+	-	2.4	-	-	凹面：2.5Y 5/1 凸面：5YR 5/2	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 凹面：押印⊕	G-038	9-4 99
4	1号窯跡	1	平瓦	8.8+	11.8+	-	1.9	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 5/2	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 凹面：ヘラ書き「子」	G-039	9-5 105

第40図 1号窯跡出土遺物(18)



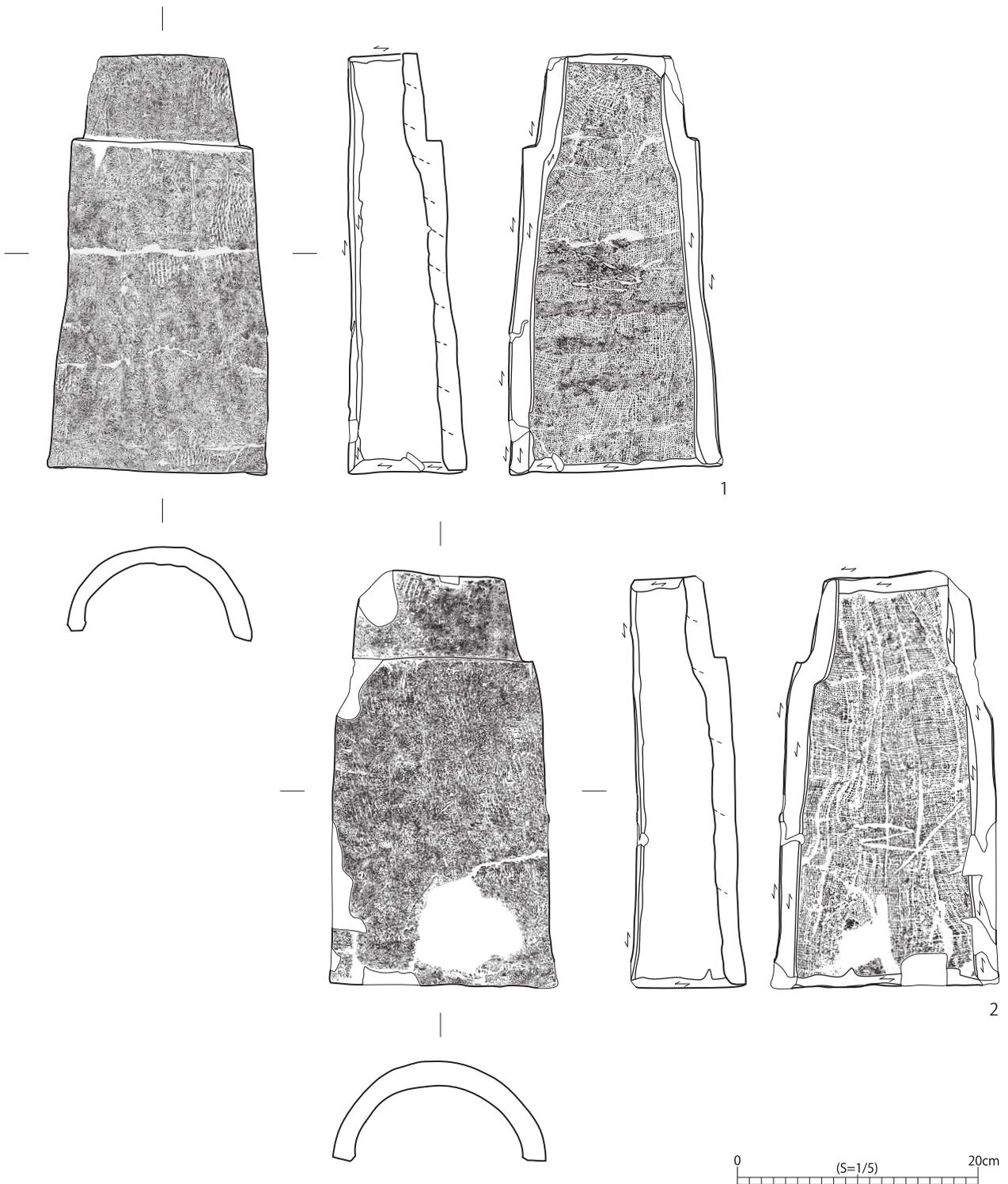
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡	1	棟平瓦	10.6+	38.1	-	-	11.7	-	瓦当面表: 2.5Y4/1 瓦当面裏: 10YR4/1 頸面: 10YR4/1 凹面: 2.5Y4/1 凸面: 10YR4/1	瓦当面表: 縄叩き→沓(二重押し)、ヘラ描き波状文、下端面圧痕 瓦当面裏: ハケメ→ユビナデ 頸面: 縄叩き→ヘラ描き波状文 凹面: 布目痕 凸面: ナデ 側面: 縄叩き	H-001	10-1
2	1号窯跡	1	平瓦	8.0+	9.7+	-	1.9	-	-	凹面: 2.5Y5/1 凸面: 2.5Y5/1	凹面: 布目痕 凸面: 縄叩き→一部ナデ 凹面: ヘラ書き「川カ」	G-040	10-2 105
3	1号窯跡	7	棟平瓦	-	-	-	-	3.7+	2.2	垂部表: 7.5YR 5/1 垂部裏: 10YR 5/1	垂部表面: 縄叩き→一部ナデ→ヘラ描き波状文、下端面ヘラケズリ 垂部裏面: ハケメ→ヘラケズリ	H-002	10-3
番号	遺構名 グリッド	層位	種別 器形	口径 長さ(cm)	底径 幅(cm)	器高 原さ(cm)	重さ (g)	色調		成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版	
4	1号窯跡	1	須恵器 瓶	-	-	(7.7)	-	外面: 2.5Y6/1 内面: 2.5Y6/1	外面: ロクロナデ、上半自然釉 内面: ロクロナデ	E-001	10-4		

第41図 1号窯跡出土遺物(19)

30cmの不整形である。下面はほぼ平坦である。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

**整地層 E:** 前庭部の堆積層下で確認した。範囲は、長軸 1m、短軸 80cm、厚さ 10cmの不整形である。下面には凹凸がみられる。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

**整地層 F:** 範囲は、長軸 5.9m、短軸 50cm、厚さ 20～50cmの不整形である。下面にはやや凹凸がみられる。明黄褐色砂質シルトと褐色砂質シルトの互層からなり、5層に細分され、下層はⅢ層黒色化部分およびⅢ層となる。断面の形状から 1号窯跡の掘方埋土、およびその上層の整地層である可能性がある。



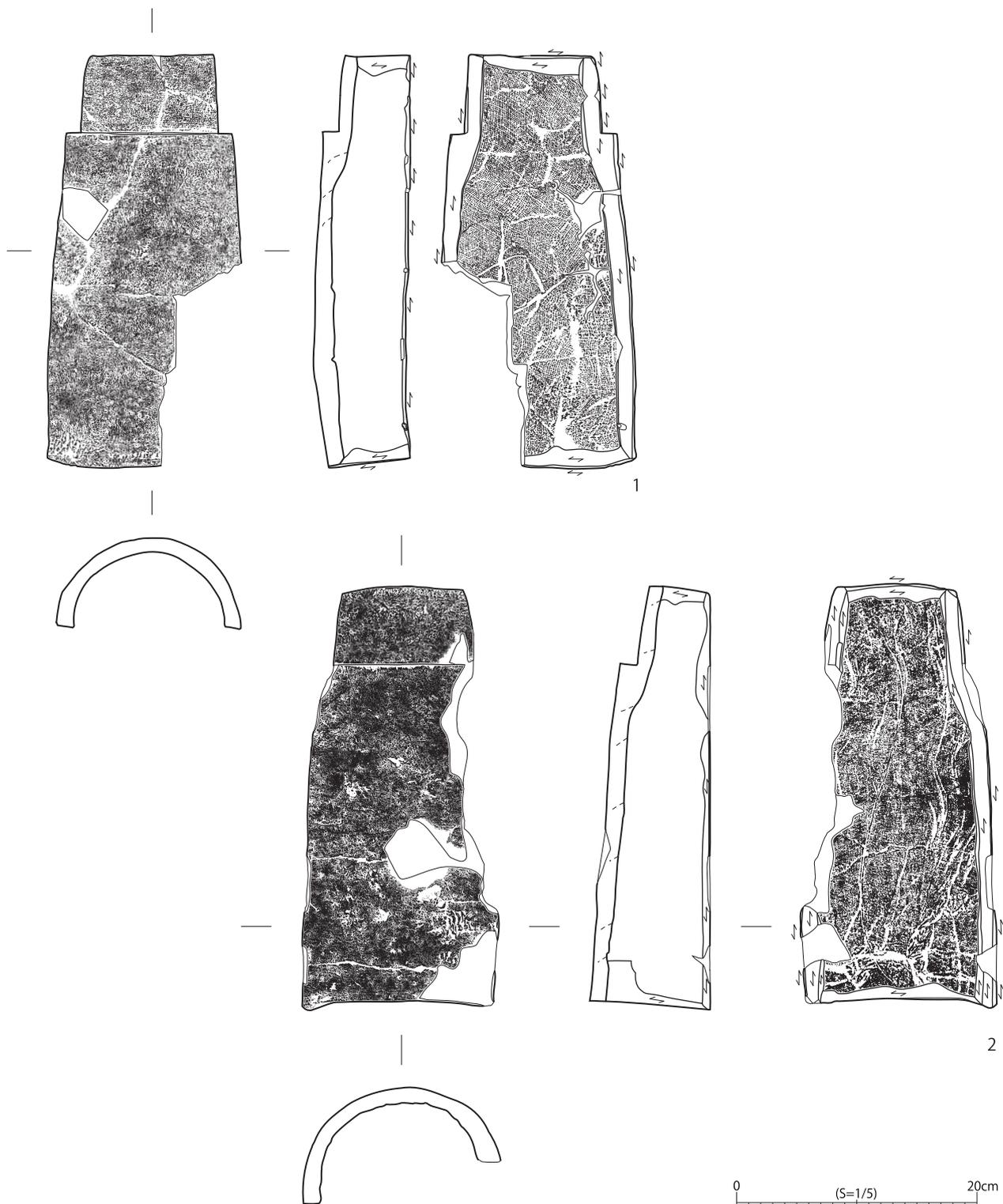
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(SD2)	3	丸瓦	35.3 玉7.3	17.7 玉12.6	14.5 玉10.1	2.0 玉1.8	-	-	凹面：2.5YR 5/2 凸面：2.5YR 6/2	凹面：粘土縞痕→布目痕→ユビナデ 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「Z」	F-009	10-5 102
2	1号窯跡 排水溝(SD2)	3	丸瓦	35.0 玉7.3	19.0 玉14.0	15.0 (16.2) 玉9.3+	2.0 玉2.2	-	-	凹面：5YR 6/3 凸面：5YR 7/4	凹面：粘土縞痕→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「件」	F-010	10-6 101

第42図 1号窯跡出土遺物(20)・排水溝(SD2)出土遺物(1)

整地層 G：範囲は、長軸 5.2m、短軸 2.9m、厚さ 10～60cm の不整形である。下面には凹凸がみられる。淡赤橙色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

【1号窯跡下面遺構】(第22図)

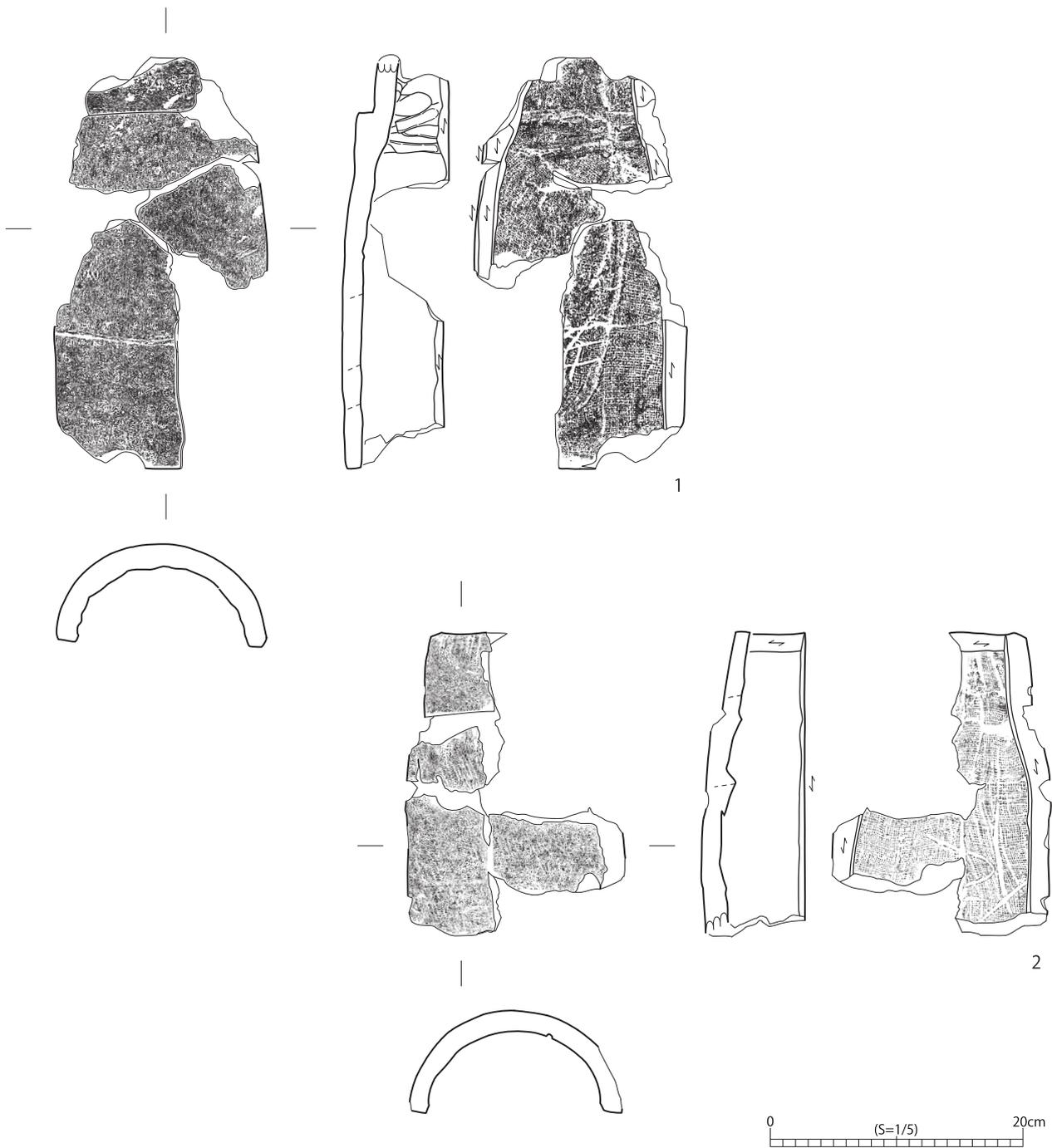
1号窯跡焼成部と重複する。11号土坑の調査時に、1号窯跡のⅢ層被熱範囲が想定される範囲をこえて東側に



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	丸瓦	34.8 玉6.5	9.4 (16.3) 玉11.5	13.8 玉10.2	1.9 玉1.1	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：7.5YR 6/2	凹面：粘土組織→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「安カ」	F-011	10-7 104
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	丸瓦	35.6 玉6.5	16.0 玉11.6	11.6+ 玉10.1	1.9 玉1.4	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 6/3	凹面：粘土組織→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「J」	F-012	10-8 105

第43図 1号窯跡出土遺物(21)・排水溝(2号溝)出土遺物(2)

延びていることを確認した。この被熱範囲を明らかにするために、前述した整地層・Ⅲ層黒色化部分の調査の③トレンチ、④東トレンチ、⑦南トレンチに区切られた範囲内で、整地層 A・B・F を掘り下げた。その結果、外側から褐色(第22図③)および黄褐色(第22図②)の2枚の整地層と、内側に明赤褐色の被熱範囲(第22図①b)、



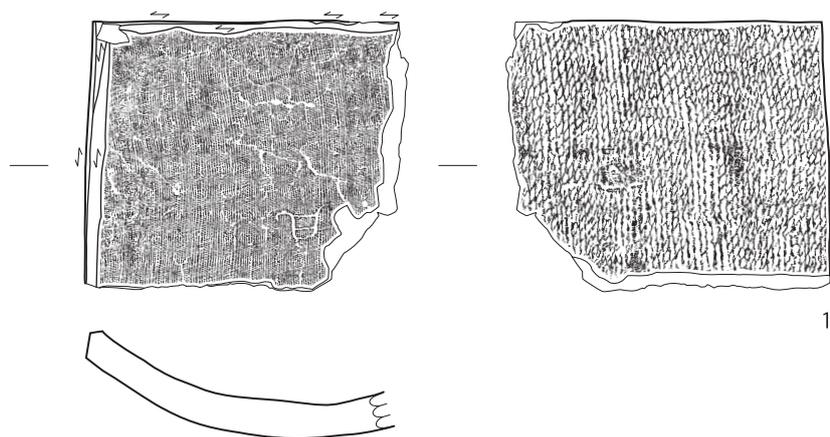
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	丸瓦	32.9+ 玉4.2+	- 玉5.8+	7.8+ 玉-	1.9 玉1.7	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 5/4	凹面：粘土細痕→布目痕→ユビナデ 凸面：縄叩き→ロクロナデ→一部ヘラナデ 周縁：側面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「安」	F-013	11-1 104
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	丸瓦	24.2+ 玉6.6	- 玉5.2+	5.8+ 4.4+	1.7 玉2.2	-	-	凹面：7.5YR 6/2 凸面：7.5YR 6/3	凹面：粘土細痕→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「伴」	F-014	11-2 101

第44図 1号窯跡出土遺物(22)・排水溝(2号溝)出土遺物(3)

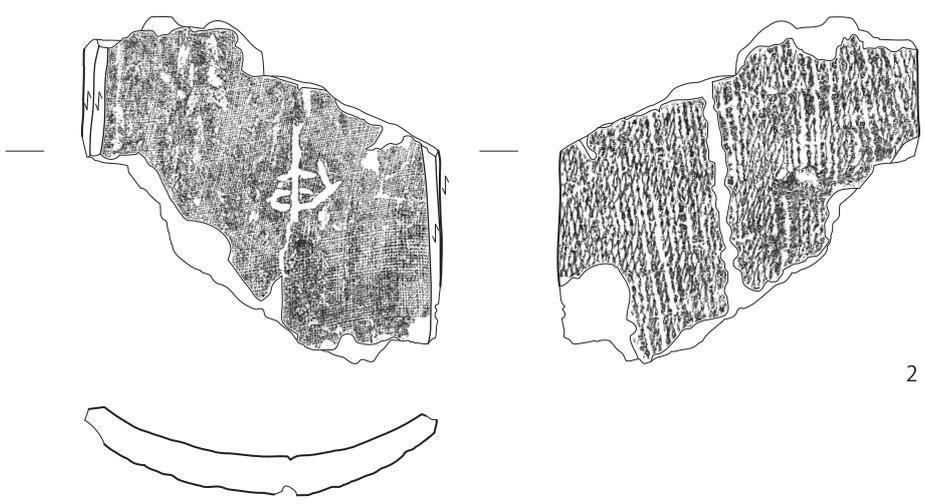
さらにその内側に焼土(第22図①a)を確認した。この被熱範囲は、被熱の度合いが強く、1号窯跡よりも古い窯跡である可能性がある。この部分は現状保存される範囲内にあることから、平面の確認にとどめた。

3号窯跡(SO3)(第53～85図・第5表)

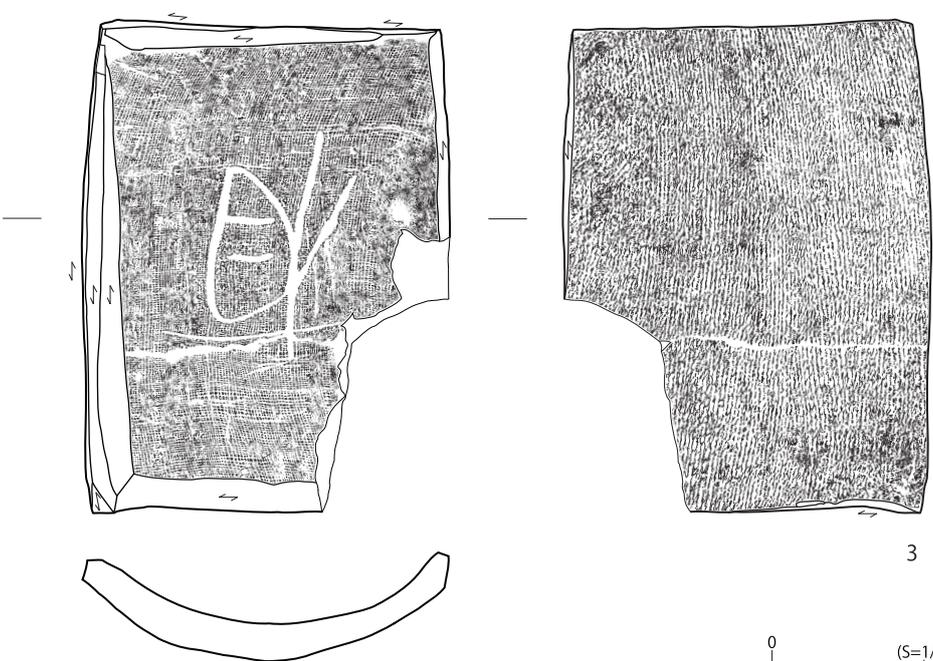
【確認状況】 調査区東側の斜面、E・F-5～8、G-5～7グリッドに位置し、丘陵から東側に樹枝状に延びる台地付根部の斜面に構築されている。攪乱により削平されているが、窯体の残存状態は良好である。他の遺構との重複関係は認められない。本窯跡と南側に隣接する1号窯跡の窯体との間隔は、19.65mである。本窯跡は岩盤ま



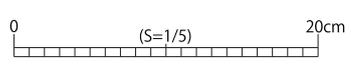
1



2

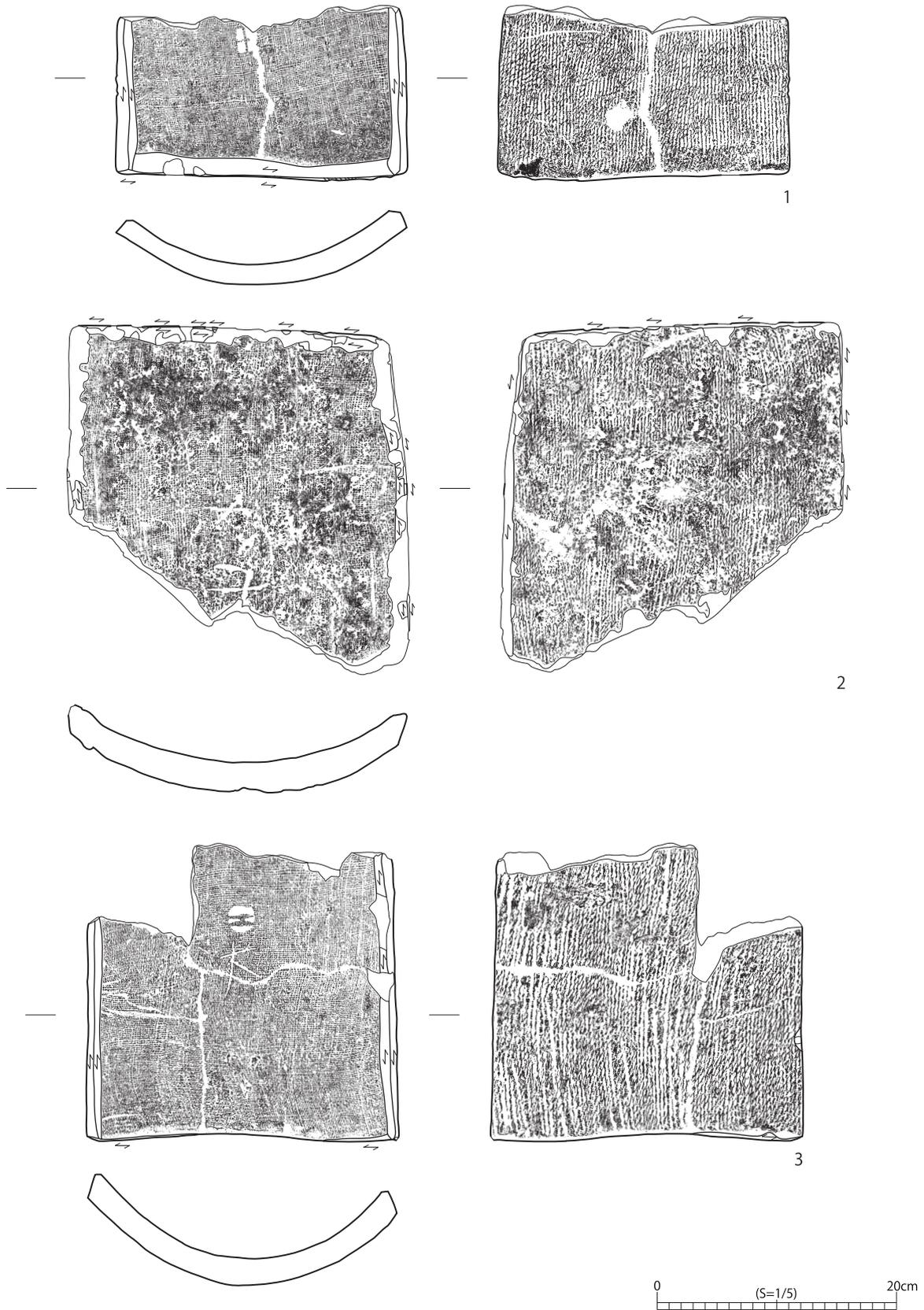


3



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	底面 直上	平瓦	18.0+	-	20.1+	2.5	-	-	凹面：N 3/0 凸面：N 3/0	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「瓦」	G-041	11-3 105
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	底面 直上	平瓦	23.1+	23.3+	-	2.6	-	-	凹面：5YR 7/4 凸面：10YR 7/2	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：側面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「伊」	G-042	11-4 103
3	1号窯跡 排水溝(2号溝)	6	平瓦	32.7	15.1 (23.4)	22.3	2.6	-	-	凹面：N 5/0 凸面：N 5/0	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「有」	G-043	11-5 102

第45図 1号窯跡出土遺物(23)・排水溝(2号溝)出土遺物(4)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	6	平瓦	14.7+	24.1	-	2.0	-	-	凹面：5YR 7/4 凸面：5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-044	12-1 98
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	6	平瓦	29.4+	-	24.9 (26.5)	2.8	-	-	凹面：7.5YR 5/1 凸面：5YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「七」	G-045	12-2 104
3	1号窯跡 排水溝(2号溝)	6	平瓦	25.2+	26.0	-	2.3	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 6/4	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：押印㊦ 凹面：ヘラ書き「大」	G-046	12-3 100

第46図 1号窯跡出土遺物(24)・排水溝(2号溝)出土遺物(5)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	4	平瓦	35.6	16.7 (23.7)	21.5	2.3	-	-	凹面：2.5YR 6/3 凸面：7.5YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→圧痕 周縁：ヘラケズリ→側面圧痕 凹面：ヘラ書き「×」	G-047	12-4 104
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	4	平瓦	37.0	16.6 (24.1)	20.4	3.5	-	-	凹面：7.5YR 6/2 凸面：7.5YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「十」	G-048	13-1 105

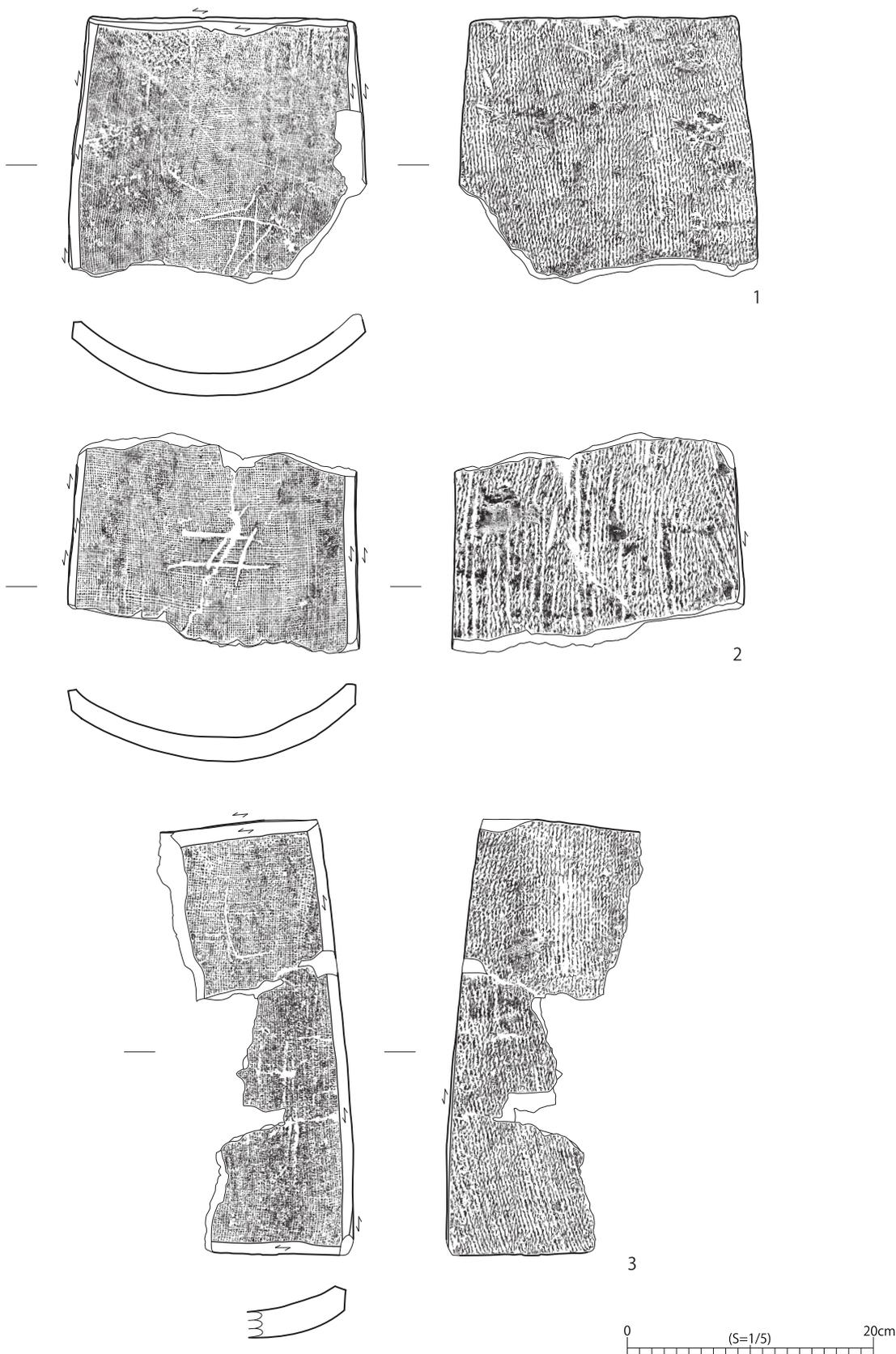
第47図 1号窯跡出土遺物(25)・排水溝(2号溝)出土遺物(6)

でⅢ層を掘り込み、床面・壁面を構築している。窯体内の堆積層の状況から、天井部はスサ入り粘土によって架構したと考えられる。Ⅲ層を主体とする明黄褐色・にぶい黄褐色・褐色を示す整地層(A～M)が認められる。整地層の周囲には、1号窯跡同様Ⅲ層が黒色(暗色)化した部分が認められる。

【窯体構造】 半地下式有牀(ロストル)式の平窯である。

【規模】 燃烧部～前庭部までの窯体の全長は13.0mである。

【中軸線の方向】 燃烧部～前庭部を通す中軸線の方位はN-73°-Wである。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	4	平瓦	22.0+	-	21.5	1.9	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：5YR 6/6	凹面：糸切り痕→布目痕→ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き解読不明	G-049	13-2 105
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	4	平瓦	18.1+	23.7+	-	2.1	-	-	凹面：2.5Y 5/2 凸面：2.5Y 5/1	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「井」	G-050	13-3 101
3	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	平瓦	35.8	10.3+	12.7+	2.4	-	-	凹面：7.5YR 5/2 凸面：2.5YR 5/3	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「1」	G-051	13-4 103

第48図 1号窯跡出土遺物(26)・排水溝(2号溝)出土遺物(7)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	平瓦	38.1	24.1 (25.5)	22.3	2.8	-	-	凹面：10R 5/1 凸面：10R 5/1	凹面：布目痕→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凸面：縄叩き→一部ナデ 融着 凹面：ヘラ書き「し」	G-052	13-5 105
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	平瓦	36.6	24.6	12.1 (22.4)	2.5	-	-	凹面：10YR 6/4 凸面：7.5YR 6/4	凹面：布目痕→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凸面：縄叩き 凹面：ヘラ書き「11」 凸面：ヘラ書き「丸」	G-053	14-1 102 103

第49図 1号窯跡出土遺物(27)・排水溝(2号溝)出土遺物(8)

【 操 業 面 数 】 5面 (A期：構築時床面、B期：細別36層上面、C期：細別34層上面、D期：細別31層上面、E期：細別29層上面)

【 煙 出 部 】 残存しない。

【 焼 成 部 】 規模は下端で計測して、奥行き1.0～1.2m、幅2.0～2.1m、残存する検出面から床面までの壁高1.3mである。平面形は、上端では不整形で、下端は奥壁部が斜辺となる台形である。分焰牀(ロストル)を



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	平瓦	34.2+	-	18.4 (22.0)	2.3	-	-	凹面：7.5YR 7/4 凸面：7.5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「安」	G-054	14-2 104
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	平瓦	37.1	1.7 (28.5)	24.7	2.7	-	-	凹面：7.5YR 7/4 凸面：5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラ ケズリ→圧痕 断面：たたら粘土貼り合せ痕 凹面：ヘラ書き「1」	G-055	14-3 104

第50図 1号窯跡出土遺物(28)・排水溝(2号溝)出土遺物(9)

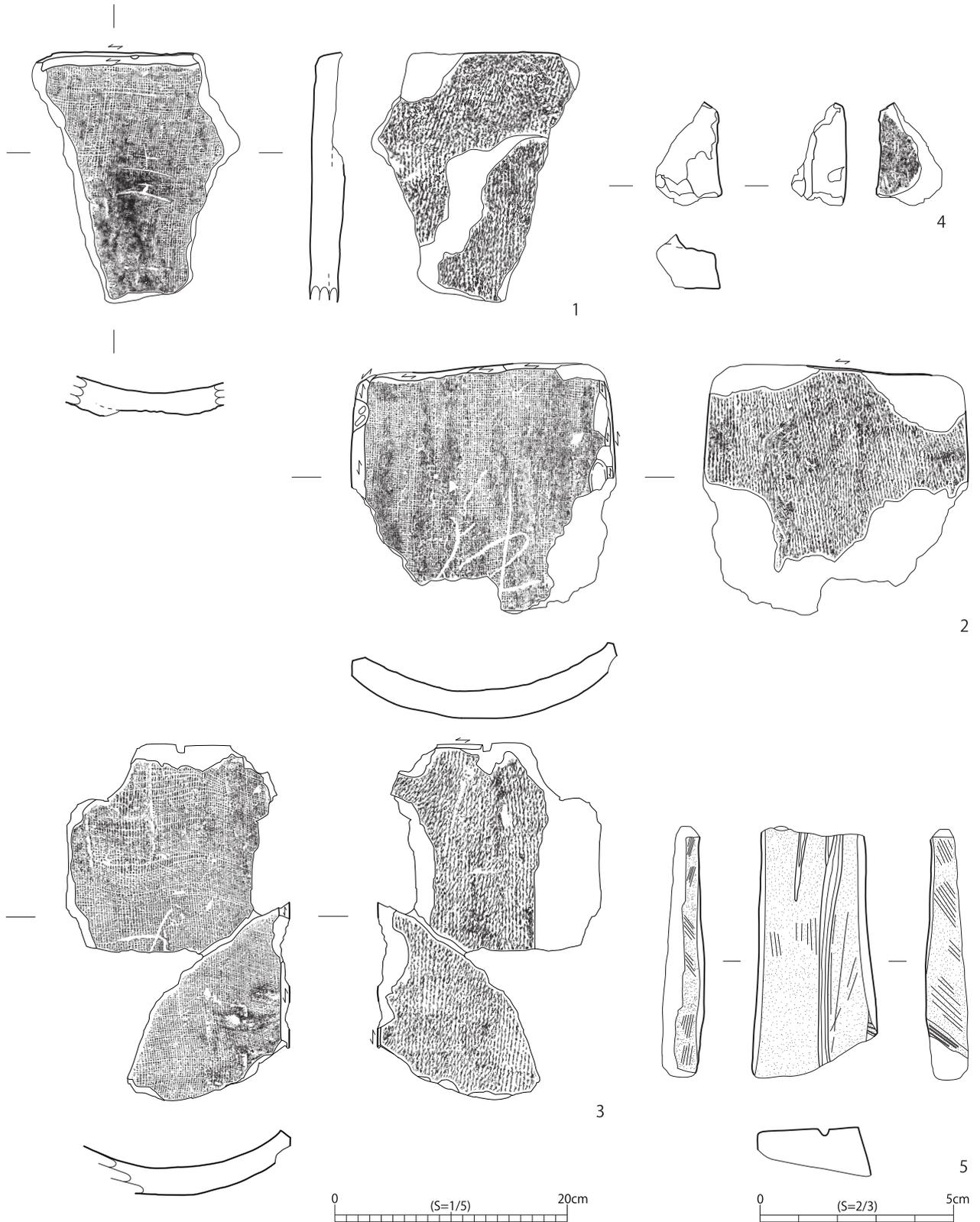
取り外していないため明確ではないが、床面に凹凸は認められず、奥壁から隔壁に向かって12°の角度で傾斜する。

四方の壁は、縦長に半截した平瓦の凸面を上部に置き、長辺を壁面と合わせスサ入り粘土と交互に積み重ねている。隔壁・北側壁・南側壁には、スサを入れていない粘土を貼っていた痕跡が認められるが、隔壁を除き、四壁のほとんどの部分で剥落し、壁を構築した瓦積みが露出している。四壁の瓦積みは、北側壁・南側壁・奥壁で20段以上、隔壁で10段以上を確認している。南北両側壁は、床面からほぼ垂直に立ち上がっている。瓦積みは奥壁が積み上げられた後に、南北側壁が積まれていた。南側壁下部には、完形の平瓦3枚を垂直に立てて、壁としている部分がある。



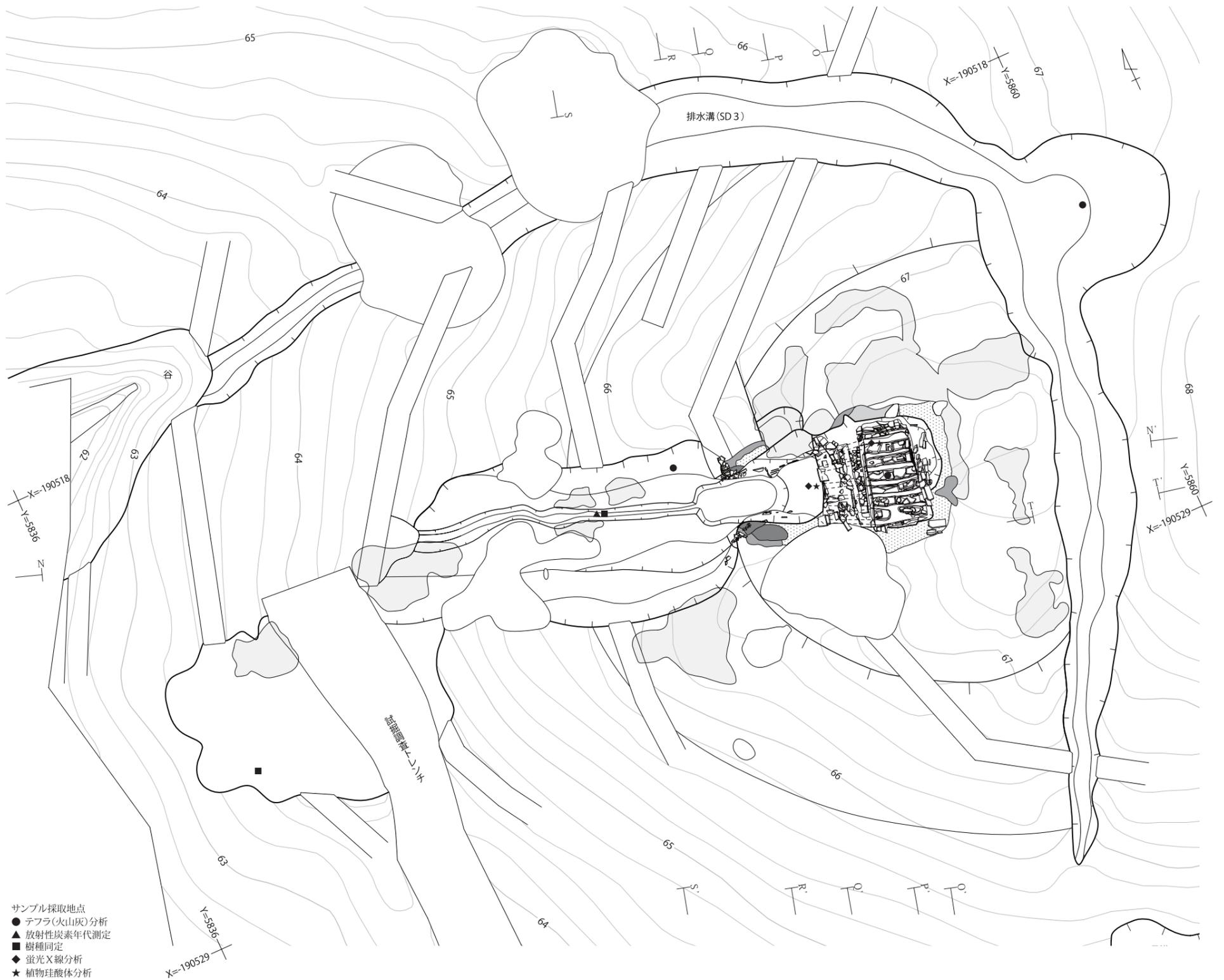
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当長 (cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	35.6	15.1+	12.9+	2.7	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-056	15-1 99
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	25.0+	-	21.3	2.7	-	-	凹面：10YR 6/2 凸面：2.5Y 6/1	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「Z」	G-057	15-6 102
3	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	24.8+	11.3+	-	2.8	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 7/3	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘ ラケズリ 断面：たたら粘土貼り合せ痕 凹面：押印㊦	G-058	15-4 100

第51図 1号窯跡出土遺物(29)・排水溝(2号溝)出土遺物(10)



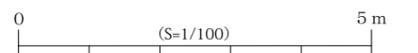
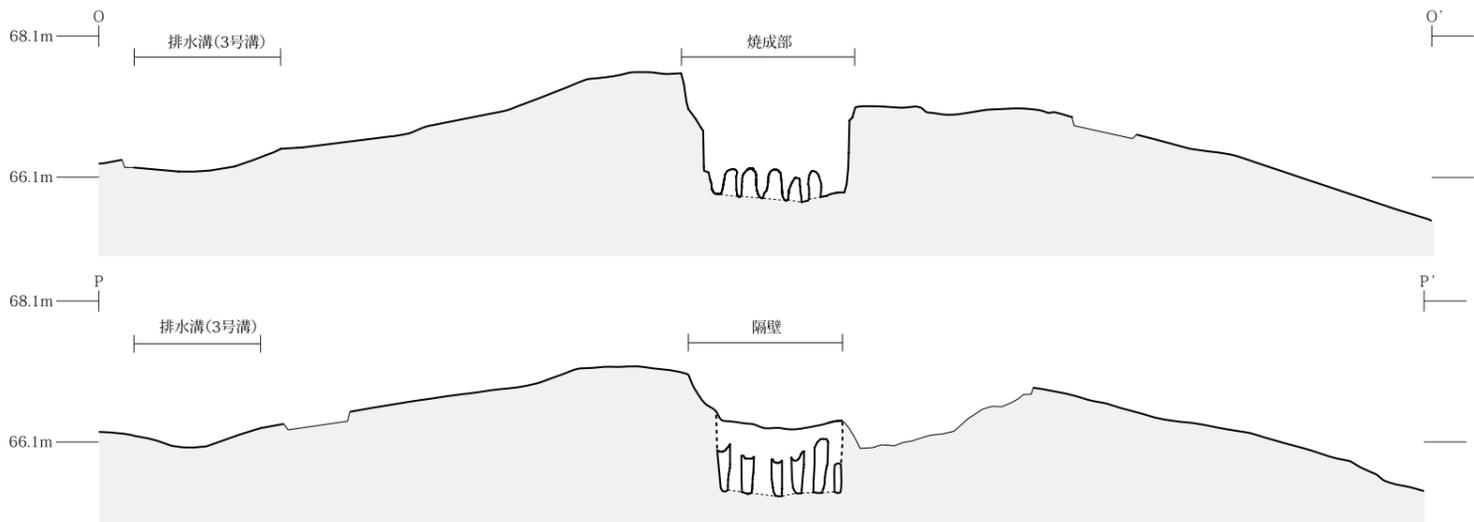
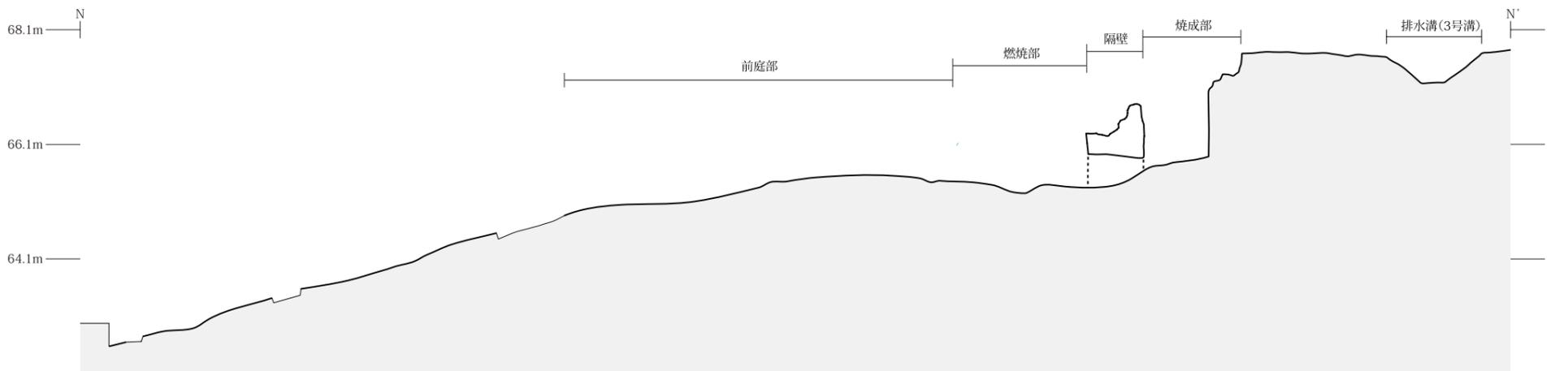
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	21.9+	-	13.6+	3.1	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 6/3	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：粘土重ね→縄叩き 周縁：狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「上工」	G-059	15-5 105
2	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	21.8+	-	18.6 (25.3)	1.6	-	-	凹面：7.5YR 6/2 凸面：10YR 7/2	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ→側面圧痕、刺突痕 凹面：ヘラ書き「体」	G-060	15-7 101
3	1号窯跡 排水溝(2号溝)	1	平瓦	31.0+	-	7.3+	2.4	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 6/4	凹面：布目痕→ナデ 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「丸カ」	G-061	15-8 103
4	1号窯跡 排水溝(2号溝)	4	鬼瓦	8.9+	5.5+	-	4.6	-	-	表面：10YR 7/3 裏面：10YR 6/2	表面：ナデ 裏面：ハケメ→ナデ 側面：ナデ 部位：牙カ	H-003	15-2
番号	遺構名 グリッド	層位	種別 器形	口径 長さ(cm)	底径 幅(cm)	器高 厚さ(cm)	重さ (g)	色調		成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版	
5	1号窯跡 排水溝(2号溝)	3	砥石	(6.5)	(3.3)	(1.1)	30.3	-		砥面：3面 刃具痕：3条 細擦痕有、製作の際の打突痕有 石材：デイスайト	K-001	15-3	

第52図 1号窯跡出土遺物(30)・排水溝(2号溝)出土遺物(11)



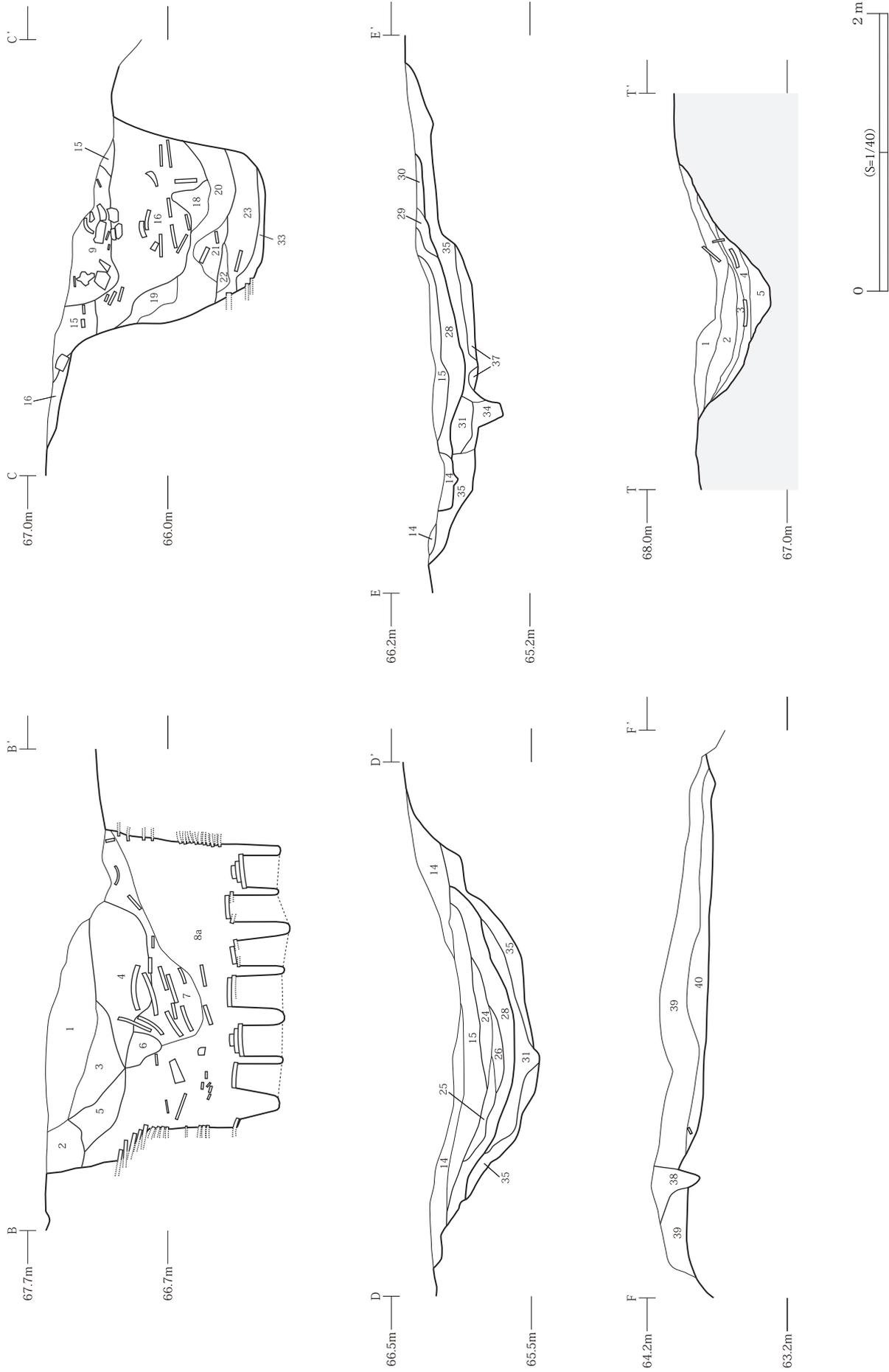
- サンプル採取地点
- テフラ(火山灰)分析
  - ▲ 放射性炭素年代測定
  - 樹種同定
  - ◆ 蛍光X線分析
  - ★ 植物珪酸体分析

- 明赤褐色被熱範囲
- 暗赤褐色被熱範囲
- 褐色被熱範囲
- にぶい橙色粘土範囲
- 整地層範囲
- 確認トレンチ

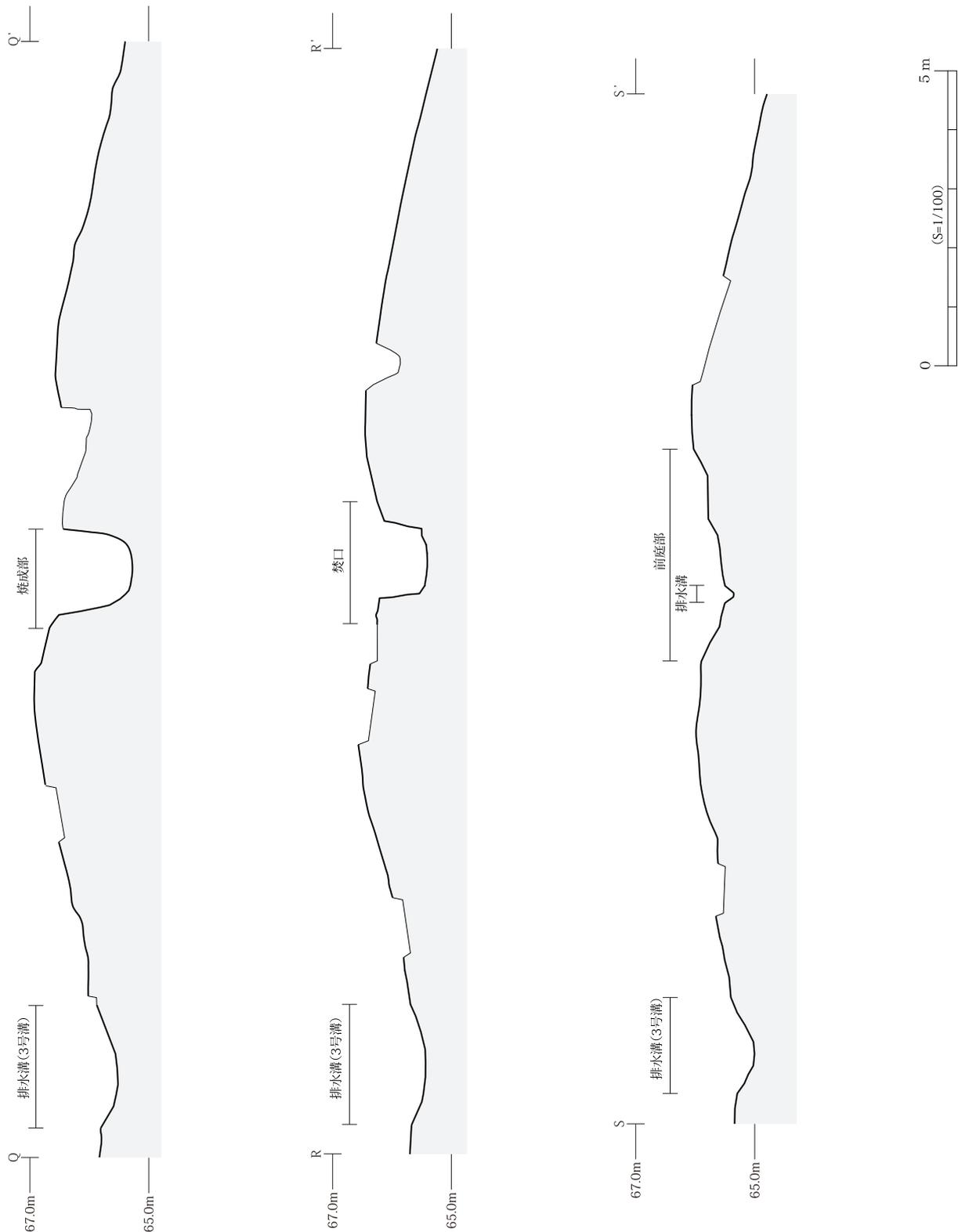


第53図 3号窯跡平面図・断面図(1)





第55图 3号窑迹土层断面图(2)·排水沟(3号溝)土层断面图



第56図 3号窯跡断面図(2)

分焰牀と奥壁の関係は、分焰牀が奥壁構築後に構築されている。奥壁と分焰牀は隔壁西側端部から奥壁方向に向かって、縦長に半截した平瓦の凸面を上部に置き、スサ入り粘土と交互に積み重ねて構築している。分焰牀は幅20～25cm、高さ35～45cm（瓦10段以上）、隔壁西側の下部を含めた長さは2.1～2.2mである。側壁と各分焰牀の間には、幅10～15cmの焰道7本があり、隔壁下部の通焰孔へとつながっている。

床面・壁面は、被熱により極めて強く赤色化し、硬化している。窯体周囲の被熱状況は、窯体に近い部分では明赤褐色で、離れた部分では暗赤褐色である。

構架材は確認されなかった。



【 隔 壁 部 】 隔壁は厚さ 1.0m、燃焼部の床面から残存する高さ 1.55m である。焼成部から 6 本の分焰牀（ロストル）が隔壁部に向かっている。隔壁下部の両側壁と各分焰牀の間には、幅 10～20cm の 7 本の焰道がある。通焰孔は、焰道の上部を完形の平瓦で覆い、立面形が長方形もしくは下部が窄まる台形で、幅 10～20cm、高さ 30～45cm である（写真 9-7～13）。焼成部に構築されている分焰牀は隔壁下部の分焰牀と連続しており、焼成部の焰道は隔壁下部の通焰孔にそのまま繋がっている。隔壁下部で北から 2 本目と 3 本目の通焰孔が合流し、北側壁から 2 本目の分焰牀が、隔壁下部で消滅し、通焰孔は 6 本に減少している。隔壁下の通焰孔の床面は、燃焼部に向かって 22° の角度で傾斜する。焼成部隔壁端部の床面と燃焼部の床面は、比高差 45cm の段差が認められる。隔壁は、分焰牀が構築された上に、平瓦を積み上げて構築されている。焰道の上部を覆う完形の平瓦は、2～3 段にわたっており、平瓦とスサ入り粘土を交互に積み上げている。また、この時に積み上げる平瓦の表裏面の使用に、規則性は認められない。その上部では、スサ入り粘土を厚く積み、その後再び完形の平瓦とスサ入り粘土を交互に 2～3 段積み上げ、その後スサ入り粘土を厚く重ねている。完形の瓦の積み上げは、通焰孔を構成する上部に積まれた瓦を含めて 10 段以上である。1 号窯跡で確認したような隔壁面に見られる縦位の板状の痕跡は認められないが、積み上げた完形の平瓦の先端部分の面が一致していることから、同様に型枠状のものが使用され、隔壁が構築されたと考えられる。

床面・壁面は、被熱により極めて強く赤色硬化している。窯体周囲の被熱状況は、窯体に近い部分では明赤褐色で、離れた部分では暗赤褐色である。

構架材は確認されなかった。

【 燃 焼 部 】 規模は下端で計測して、奥行き 2.1m、幅 1.5m、焚口幅 1.1m、検出面から床面までの壁高 1.4m である。平面形は、焚口から隔壁に向かって広がる逆台形である。床面は隔壁から焚口に向かって 2° の角度で傾斜する。南北両側壁は焼成部・隔壁の側壁から連続しており、縦長に半截した平瓦の凸面を上置き、長辺を側壁の面に合わせ、スサ入り粘土と交互に積み重ねている。表面には、スサを入れていない粘土を貼っている。隔壁付近の両側壁は、北側壁では床面から 1.1m まで直立気味に立ち上がり、その後屈曲して外傾している。南北両側壁の中央部から隔壁寄りに、床面から 30～50cm の位置で向かい合うように、棟平瓦が確認されている（写真 9-2・4）。南側壁は床面から 1.1m まで直立気味に立ち上がり、その先は攪乱によって消滅している。両側壁上部では、完形の平瓦の凹面を上にして、燃焼部の中央に向かって迫り出すように積んでいる部分が認められ、天井部の形状と構架方法を示している可能性がある。燃焼部中央の北側壁では、平瓦が凸面を外面向け、立てられた状態で出土している。平瓦と北側壁の間隙には、スサ入り粘土が詰められている。南側壁で、同様に平瓦が出土しており、当該部分は内側に括れている。燃焼部床面には、括れ部分から焚口を経て前庭部までいたる長軸 2.2m、短軸 1.0m、深さ 10cm の楕円形の土坑状の掘り込みが認められる。床面に凹凸は見られず、焚口から隔壁方向へ極めて緩やかに傾斜している。この掘り込み西側から、前庭部中央に排水溝と考えられる施設がある。

燃焼部両側壁が南北に開く屈曲面が焚口と考えられ、平瓦が立位で出土している。平瓦の凹面には、スサ入り粘土が認められ、壁面に貼付けられていたものが剥落したものと考えられる。

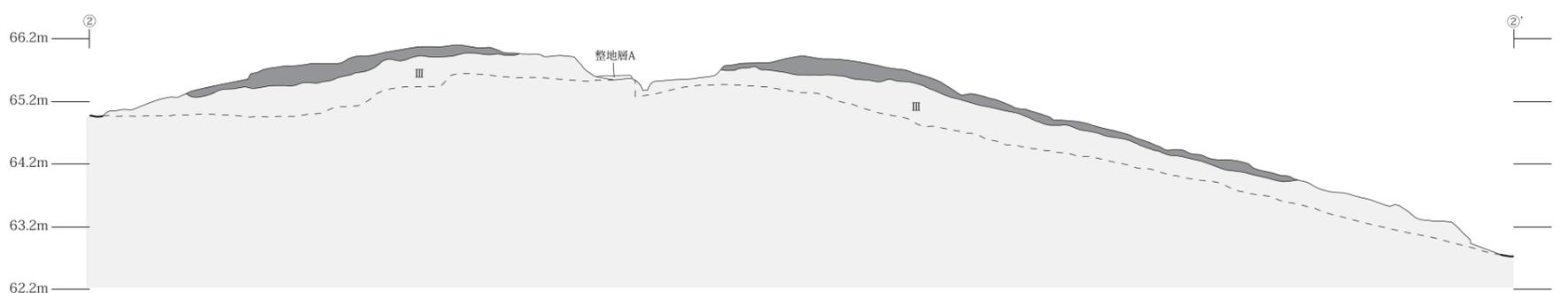
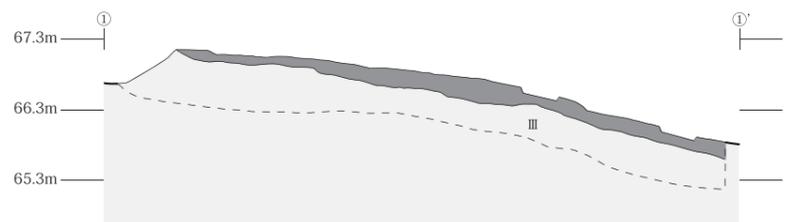
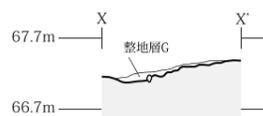
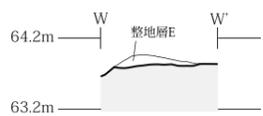
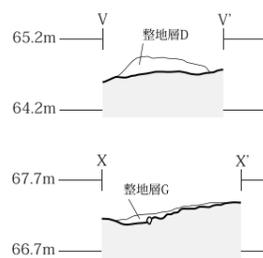
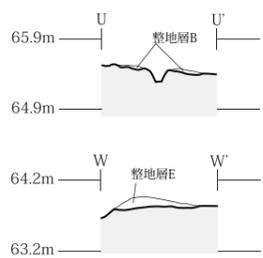
床面・壁面は、被熱により極めて強く赤色化し、硬化している部分が認められる。窯体周囲の被熱状況は、窯体に近い部分では褐色で、離れた部分では明赤褐色と暗赤褐色である。

燃焼部に伴う構架材は、5ヶ所で検出した（写真 10-2）。北側壁外で 1ヶ所、北側側壁内で 2ヶ所、南側壁外で 2ヶ所である。構架材は炭化し、直径 1cm 前後で、横断面は円形である。燃焼部の中央で、直径 8cm で円形の炭化材を確認した。

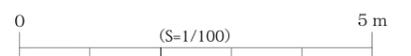
【 前 庭 部 】 燃焼部側壁から焚口に続く壁は南北に屈曲して開き、前庭部へ続いている。前庭部は、南北 3.9m・東西 8.4m、深さは 0.4～0.85m の、東西に長い不整楕円形である。床面は凹凸が少なく、東半部は平坦で、



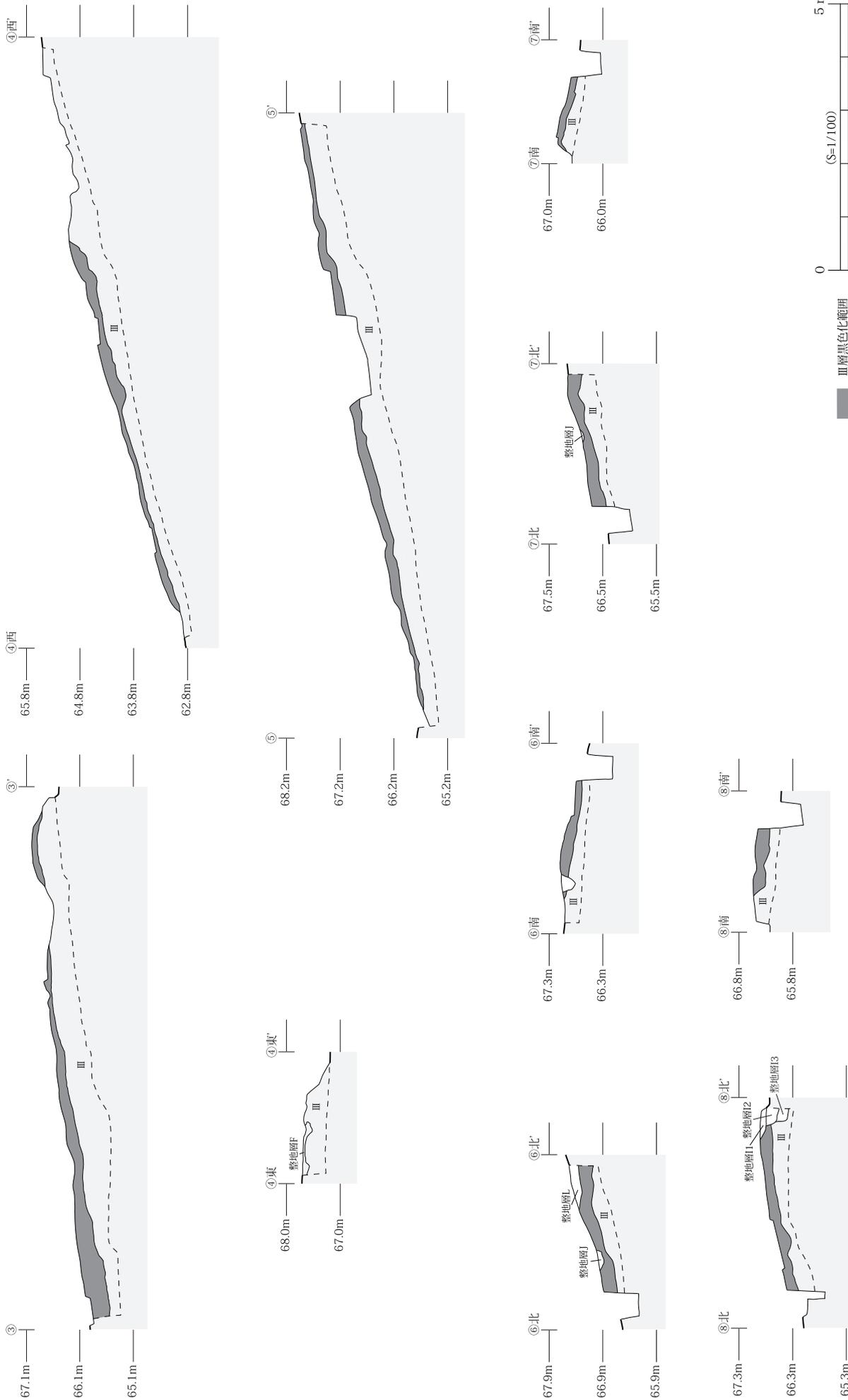
- 明赤褐色被熱範囲
- 褐色被熱範囲
- にぶい赤褐色被熱範囲
- にぶい黄橙色粘土範囲
- 整地層範囲
- Ⅲ層黒色化部分範囲
- 確認トレンチ



Ⅲ層黒色化部分



第58図 3号竈跡整地層・Ⅲ層黒色化部分確認トレンチ平面図・土層断面図(1)



第59図 3号築跡整地層・III層黒色化部分確認トレンチ土層断面図(2)

3号窯跡、3号窯跡排水溝(SD3)、3号窯跡整地層・III層黒色化部分土層観察表

3号窯跡

層位	土色	土性	特徴	層位	土色	土性	特徴
1	にぶい黄褐色10YR4/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別1層) 焼土粒(黄褐色)を少量含む。礫・焼土粒(明赤褐)・炭化物粒を微量含む。	21	明黄褐色10YR6/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別10層) 粘土(にぶい黄褐色)大ブロックを多量含む。焼土大ブロックを含む。
2	にぶい黄褐色10YR6/4	砂質シルト	流入堆積層(大別1層) 礫を少量含む。	22	暗褐色10YR3/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別11層) 粘土質シルト(褐)を帯状に含む。北側に粘土(褐)小ブロックを微量含む。
3	にぶい黄褐色10YR4/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別1層) 焼土粒を微量含む。	23	暗褐色10YR3/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別11層) 粘土質シルト(褐)中～極大ブロックを含む。
4	明褐色7.5YR5/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別2層) 焼土粒・礫を少量含む。	24	褐色7.5YR4/4	粘土質シルト	流入堆積層(大別11層) 焼土大ブロックを多量含む。炭化物粒・礫を微量含む。
5	明褐色7.5YR5/8	砂質シルト	窯体崩落層(大別2層) 焼土中ブロックを少量含む。	25	黒褐色10YR2/2	シルト	流入堆積層(大別11層) 焼土粒を多量含む。炭化物粒を少量含む。礫を微量含む。
6	にぶい黄褐色10YR6/4	砂質シルト	流入堆積層(大別3層) 灰白色火山灰	26	褐色7.5YR4/4	粘土質シルト	流入堆積層(大別11層) 炭化物粒を含む。礫を少量含む。
7	明褐色7.5YR5/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別4層) 焼土中ブロックを少量含む。炭化物粒を極微量含む。	27	褐色7.5YR4/4	砂質シルト	燃料残滓層(大別12層) 礫を多量含む。焼土粒(明赤褐)を少量含む。
8a	明褐色7.5YR5/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別4層) 砂質シルト(明褐)極大ブロックを極多量含む。礫を少量含む。	28	黒10YR2/1	粘土質シルト	燃料残滓層(大別12層) 北壁際にシルト(褐)を帯状に含む。炭化物粒を多量含む。焼土を少量含む。礫を微量含む。
8b	褐色7.5YR6/8	粘土質シルト	窯体崩落層(大別4層) スサを多量含む。礫を含む。	29	褐色7.5YR4/4	砂質シルト	流入堆積層(大別13層) 一部にシルト(黒褐)を少量含む。炭化物粒を微量含む。
9	褐色10YR4/6	シルト	流入堆積層(大別5層) 礫を含む。焼土粒を少量含む。炭化物粒を微量含む。	30	にぶい黄褐色10YR4/3	シルト	流入堆積層(大別13層) 焼土粒を多量含む。炭化物粒を微量含む。
10	にぶい黄褐色10YR6/3	粘土	窯体崩落層(大別6層) 焼土大ブロックを極多量含む。	31	褐色7.5YR4/4	シルト	燃料残滓層(大別14層) 下部に砂質シルト(にぶい黄褐色)大ブロックを多量含む。炭化物粒・礫を少量含む。焼土粒を微量含む。
11	明黄褐色10YR7/6	粘土	窯体崩落層(大別6層) 焼土大ブロックを極多量含む。礫を微量含む。	32	黒10YR2/1	粘土質シルト	燃料残滓層(大別14層) 上部にシルト(にぶい黄褐色)を帯状に含む。礫を含む。
12	明黄褐色10YR6/6	砂質シルト	窯体崩落層(大別6層) 焼土大ブロックを極多量含む。礫を微量含む。	33	黒10YR2/1	粘土質シルト	燃料残滓層(大別14層) 粘土質シルト(褐)小ブロックを含む。
13	明褐色7.5YR5/6	砂質シルト	窯体崩落層(大別6層) 礫を微量含む。	34	黒褐色10YR3/2	シルト	燃料残滓層(大別15層) 焼土粒・炭化物粒を微量含む。
14	にぶい黄褐色10YR4/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別7層) 灰白色火山灰大ブロックを多量含む。炭化物粒・焼土粒(明赤褐)を少量含む。礫を微量含む。	35	黒褐色10YR3/1	砂質シルト	燃料残滓層(大別15層) 砂(にぶい黄褐色)大ブロックを多量含む。炭化物粒を微量含む。焼土粒を極微量含む。
15	暗褐色10YR3/3	粘土質シルト	流入堆積層(大別7層) 焼土大ブロック・焼土小ブロックを多量含む。炭化物粒を少量含む。礫を微量含む。	36	にぶい黄褐色10YR4/3	シルト	燃料残滓層(大別16層) 焼土粒を含む。炭化物粒を微量含む。
16	明黄褐色10YR6/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別8層) 粘土(にぶい黄褐色)大ブロックを多量含む。焼土大ブロックを含む。礫を微量含む。	37	褐色7.5YR4/4	シルト	燃料残滓層(大別16層) 焼土大ブロックを多量含む。礫ブロックを少量含む。炭化物粒を微量含む。
17	褐色10YR4/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別8層) 焼土粒・礫を少量含む。粘土(にぶい黄褐色)小ブロックを微量含む。	38	にぶい黄褐色10YR4/3	砂質シルト	流入堆積層(大別17層) 下部に粘土質シルト(にぶい黄褐色10YR5/4)中ブロックを微量含む。礫を含む。焼土粒を少量含む。
18	黒褐色10YR3/1	シルト	流入堆積層(大別9層) 粘土質シルト(明黄褐色)中ブロック・焼土中ブロックを多量含む。	39	褐色7.5YR4/6	砂質シルト	燃料残滓層(大別18層) 焼土粒・礫を含む。
19	明褐色7.5YR5/6	粘土質シルト	窯体崩落層(大別10層) 下部に粘土質シルト(明黄褐色)ブロックを多量含む。焼土大ブロックを多量含む。礫を微量含む。中部に粘土質シルト(にぶい赤褐)を帯状に含む。	40	褐色7.5YR4/4	砂質シルト	燃料残滓層(大別18層) 粘土質シルト(にぶい黄褐色)を少量含む。焼土粒を多量含む。礫を含む。
20	明赤褐色5YR5/8	砂質シルト	窯体崩落層(大別10層) 上部～中部に粘土質シルト(明黄褐色)を帯状に含む。上部に炭化物を帯状に含む。	41	褐色10YR4/4	粘土質シルト	燃料残滓層(大別18層) 焼土下層 焼土粒を微量含む。

3号窯跡排水溝(SD3)

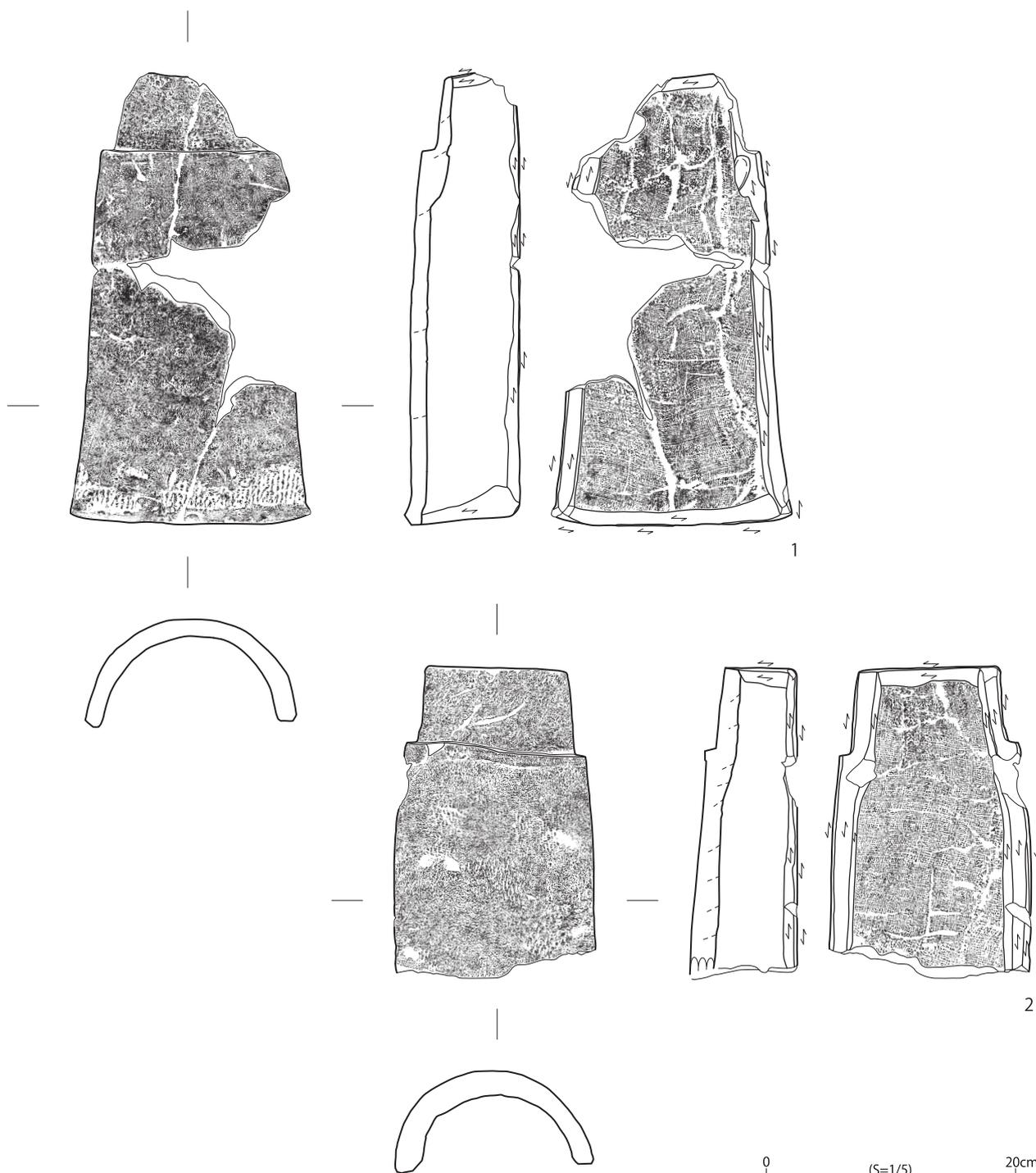
層位	土色	土性	特徴	層位	土色	土性	特徴
1	黒褐色10YR3/2	シルト	流入堆積層 礫を含む。	4	明黄褐色10YR6/6	粘土質シルト	流入堆積層 礫を含む。シルト質砂(浅黄)中ブロックを微量含む。
2	黒褐色10YR3/1	シルト	流入堆積層 礫を含む。炭化物粒を微量含む。下部に粘土質シルト(明黄褐色)を帯状に含む。	5	黄褐色10YR5/6	砂質粘土	流入堆積層 粘土質シルト(にぶい赤褐)小ブロックを少量含む。粘土(にぶい黄褐色)中ブロックを微量含む。下部に植物遺体を微量含む。
3	にぶい黄褐色10YR5/4	粘土質シルト	流入堆積層 明瞭な混入土・混入物なし。				

3号窯跡整地層・III層黒色化部分

層位	土色	土性	特徴	層位	土色	土性	特徴
整地層A	にぶい黄褐色10YR4/3	砂質シルト	礫を多量含む。炭化物粒を微量含む。焼土粒を極微量含む。	整地層11層	明黄褐色10YR6/6	砂質シルト	窯体側に砂質シルト(明黄褐色10YR6/8)中・大・極大ブロックを少量含む。礫を多量含む。焼土小・中・大ブロックを少量含む。炭化物粒を微量含む。
整地層B	にぶい黄褐色10YR4/3	砂質シルト	礫を多量含む。炭化物粒を微量含む。焼土粒を極微量含む。	整地層12層	にぶい黄褐色10YR5/4	粘土質シルト	礫を多量含む。焼土粒・炭化物粒を微量含む。
整地層C	にぶい黄褐色10YR4/3	砂質シルト	礫を多量含む。炭化物粒を微量含む。焼土粒を極微量含む。	整地層13層	にぶい黄褐色10YR5/4	砂質シルト	礫を含む。
整地層D	明黄褐色10YR6/6	砂質シルト	礫を多量含む。上～中部に炭化物粒を微量含む。上部に焼土粒を極微量含む。下部に砂質シルト(にぶい黄褐色)を帯状に多量含む。	整地層J	褐色10YR4/6	砂質シルト	砂質シルト(黄褐色)・礫を多量含む。焼土粒を含む。炭化物粒を少量含む。
整地層E	明黄褐色10YR6/6	砂質シルト	礫を多量含む。上～中部に炭化物粒を微量含む。上部に焼土粒を極微量含む。下部に砂質シルト(にぶい黄褐色)を帯状に多量含む。	整地層K	にぶい黄褐色10YR5/4	粘土質シルト	礫を多量含む。酸化鉄を含む。粘土(にぶい黄褐色)小・中ブロックを少量含む。炭化物粒・焼土粒を微量含む。
整地層F	にぶい黄褐色10YR5/4	粘土質シルト	砂(にぶい黄褐色)と互層をなす。礫を少量含む。	整地層L	にぶい黄褐色10YR5/4	砂質シルト	礫を多量含む。炭化物粒を微量含む。
整地層G	にぶい黄褐色10YR5/4	粘土質シルト	焼土粒・礫を多量含む。炭化物粒を微量含む。	整地層M	にぶい黄褐色10YR5/4	砂質シルト	礫を多量含む。炭化物粒を少量含む。焼土粒を微量含む。中央部に砂質シルト(灰黄褐色)を帯状に多量含む。
整地層H	にぶい黄褐色10YR5/4	砂質シルト	礫を含む。				

西側に緩やかに傾斜している。壁は、床面から緩やかに立ち上がり、南側にテラス状の広がりがみられる。燃焼部中央から、前庭部にいたる土坑状の落ち込みの西側端部から始まる排水溝は、長さ 6.3m、幅 0.25 ～ 0.5m、深さ 0.2m で、断面は「U」字形である。排水溝は東半部では直線的であるが、西半部ではやや蛇行している。

【 堆 積 層 】 大別 18 層、細別 42 層を確認した。大別 1 層：流入堆積層。大別 2 層：焼成部の窯体崩落層。大別 3 層：灰白色火山灰の流入堆積層。大別 4 層：瓦を多量に含む焼成部の窯体崩落層。大別 5 層：流入堆積層。大別 6 層：隔壁部の窯体崩落層。大別 7 層：流入堆積層。細別 14 層に灰白色火山灰ブロックをやや多量に含む。大別 8 層：燃焼部の窯体崩落層。大別 9 層：炭化物層。大別 10 層：燃焼部の窯体崩落層。大別 11 層：流入堆積層。

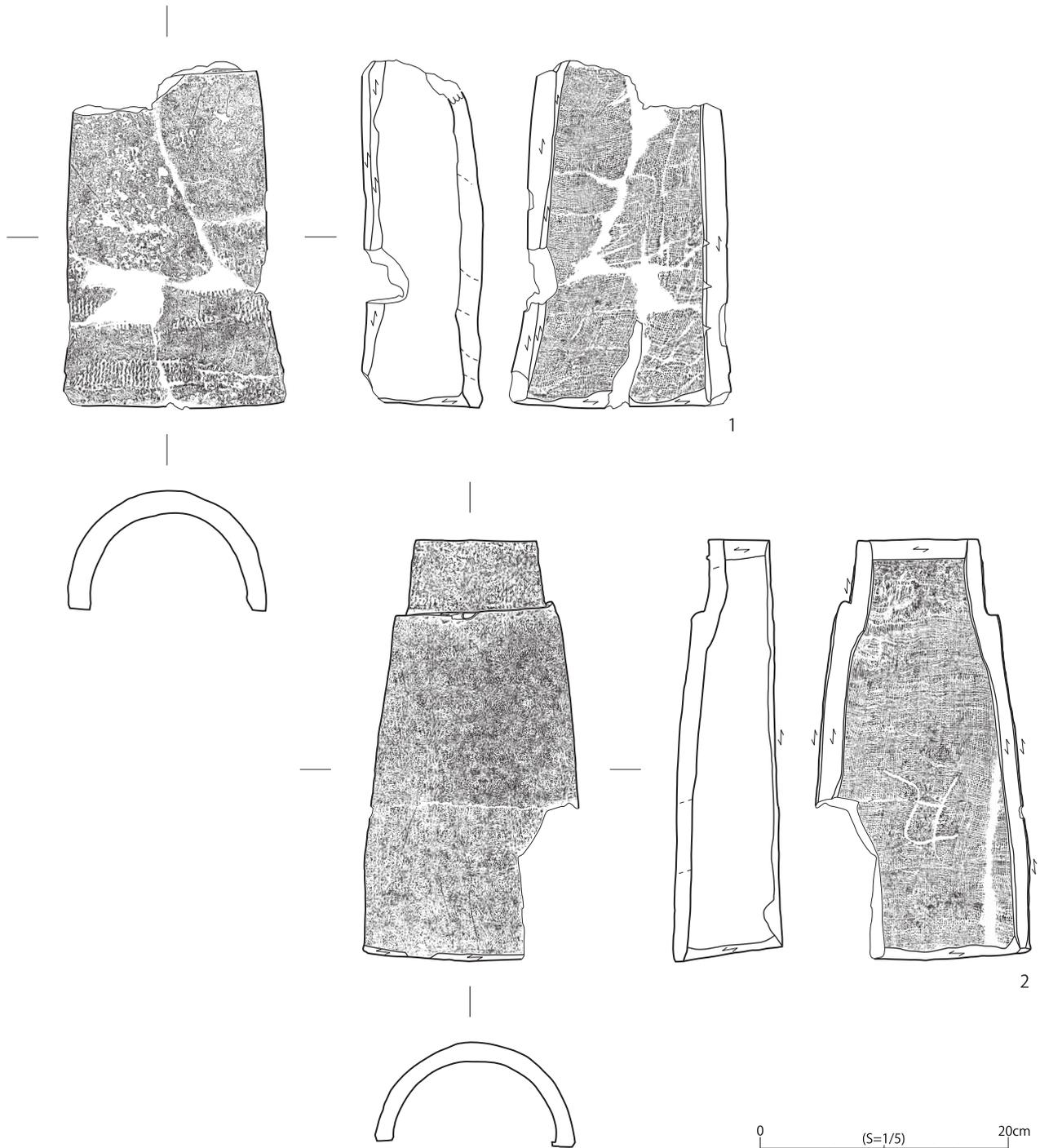


番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当 長(cm)	瓦当 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡 3号窯跡灰原	38	丸瓦	36.4 玉6.2	19.3 玉12.4+	13.9 (14.7) 玉3.2+	1.7 玉1.1	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：5YR 6/6	凹面：粘土組織→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「土」	F-015	15-9 105
2	3号窯跡 灰原	38	丸瓦	25.3+ 玉6.5	- 玉12.8	14.5 玉11.2	2.2 玉1.5	-	-	凹面：5YR 6/3 凸面：5YR 7/4	凹面：粘土組織→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「上」	F-016	15-10 104

第60図 3号窯跡出土遺物(1)

大別 12 層：E 期の燃焼部・前庭部に広がる燃料残滓層。大別 13 層：流入堆積層。大別 14 層：C 期の燃焼部・前庭部に広がる燃料残滓層。大別 15 層：B 期の前庭部・灰原に広がる燃料残滓層。大別 16 層：A 期の前庭部・灰原に広がる燃料残滓層。大別 17 層：流入堆積層。大別 18 層：灰原に広がる焼土層。

【 灰 原 】 前庭部の中軸線の延長上から、南西側に広がっている。範囲は、長さ 6.4m、幅 5.0m、厚さ 20～30cmの不整楕円形である。堆積層は焼土・炭化物等の互層となっていた。灰原の堆積層は大別 16 層～18



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡 灰原	38	丸瓦	28.3+ 玉-	17.2 (17.9) 玉-	5.7 (14.7) 玉-	2.0 玉-	-	-	凹面: 5YR 5/3 凸面: 2.5YR 5/4	凹面: 粘土組痕→布目痕 凸面: 細叩き→ロクロナデ 周縁: 側面ヘラケズリ 凹面: ヘラ書き「岩カ」	F-017	16-2 105
2	3号窯跡	20	丸瓦	34.3 玉5.9	12.8 (17.6) 玉11.3	12.6 玉9.7	1.6 玉1.4	-	-	凹面: 7.5YR 7/4 凸面: 7.5YR 6/3	凹面: 粘土組痕→布目痕 凸面: 細叩き→ロクロナデ 周縁: ヘラケズリ 粘土付着 凹面: ヘラ書き「丸」	F-018	16-1 103

第61図 3号窯跡出土遺物(2)

層である。大別 16・18 層は焼土層であり、中間には窯体からの流出堆積層（大別 17 層）が認められる。

【排水溝（3号溝）】 窯の周囲には3号溝が窯体の西側の谷から北側を通り、東側から南側へ延びている。本窯跡に伴う排水溝と考えられる。溝の規模は、場所によって大きく異なっている。西側の谷から北側は幅 0.6～1.5m で、深さは検出面から 20cm である。北側から東側では、幅 1.3～1.8m で、深さは 25～30cm である。南側に屈曲する部分は、土坑状の落ち込みとなっている。さらに、南側に延びる部分では、幅 0.5～1.8m、深さは 30～60cm

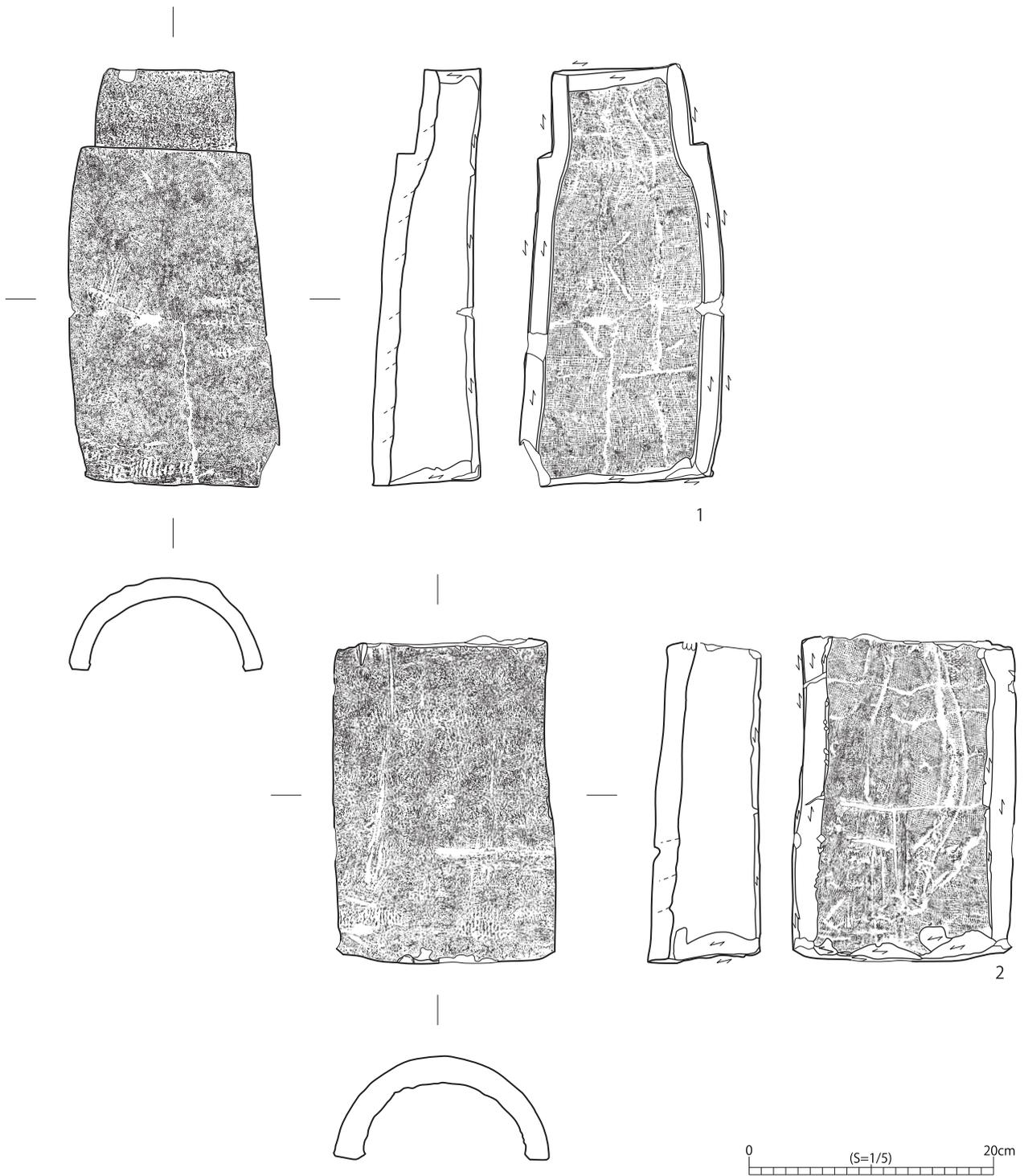


番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	20	丸瓦	33.9 玉6.7	14.1 (17.3) 玉12.0	13.6 玉9.7	2.0 玉1.5	-	-	凹面：7.5YR 5/2 凸面：7.5YR 6/2	凹面：粘土組痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「丸」	F-019	16-4 103
2	3号窯跡	17	丸瓦	23.7+ 玉-	19.8 玉-	-	1.7 玉-	-	-	凹面：7.5YR 7/4 凸面：5YR 6/4	凹面：粘土組痕→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「1」	F-020	16-3 103

第62図 3号窯跡出土遺物(3)

である。底面は、凹凸が認められず、焼成部から前庭部を通る中軸線上付近を境として西側と南側に傾斜している。堆積層は、細別5層を確認した。すべて周囲からの流入堆積層である。

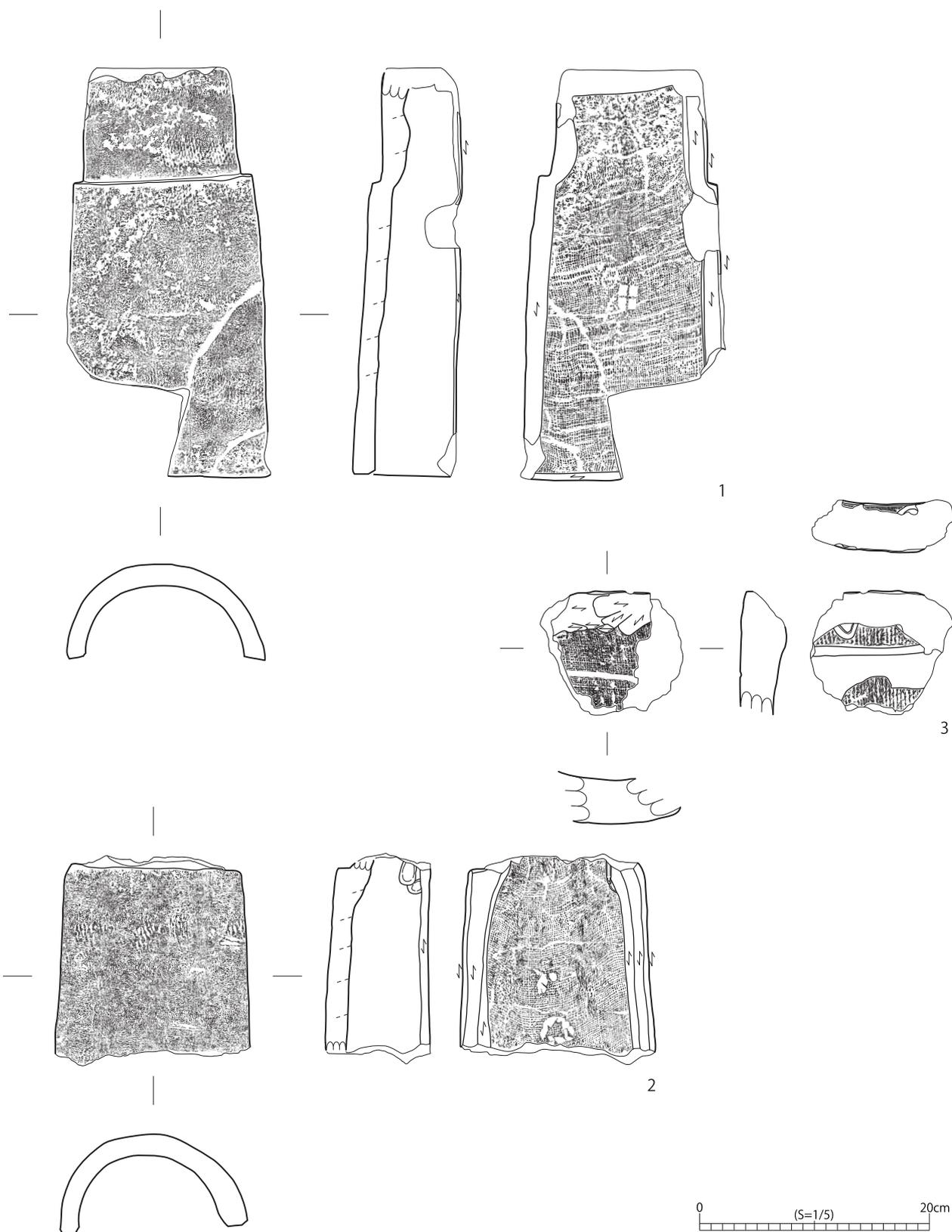
【出土遺物】 丸瓦・軒平瓦・平瓦・棟平瓦・鬼瓦及び、須恵器・土師器が出土している。総破片数は3821点で、81点を図示した。大別1層から丸瓦・平瓦・鬼瓦、大別2層から丸瓦・平瓦・須恵器・土師器、大別3層からは出土しておらず、大別4層から丸瓦・平瓦・鬼瓦・須恵器、大別5層からは出土しておらず、大別6層から丸瓦・軒平瓦・平瓦、大別7層から丸瓦・平瓦・須恵器・土師器、大別8層から丸瓦・軒平瓦・平瓦・棟平瓦・須恵器・土師器、大別9層から丸瓦・平瓦、大別10層から丸瓦・平瓦・棟平瓦、大別11層から丸瓦・平瓦・須



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	丸瓦	34.3 玉6.6	14.2 (15.6) 玉11.6	13.6 玉10.4	1.7 玉1.4	-	-	凹面：7.5YR 5/3 凸面：7.5YR 6/3	凹面：粘土紐痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き解読不明	F-021	16-6 106
2	3号窯跡	16	丸瓦	27.1+ 玉-	17.9 玉-	16.9 玉-	2.2 玉-	-	-	凹面：10YR 6/1 凸面：7.5YR 6/2	凹面：粘土紐痕→布目痕→ナデ 凸面：縄叩き→ロクロナデ→一部ナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「上」	F-022	16-5 104

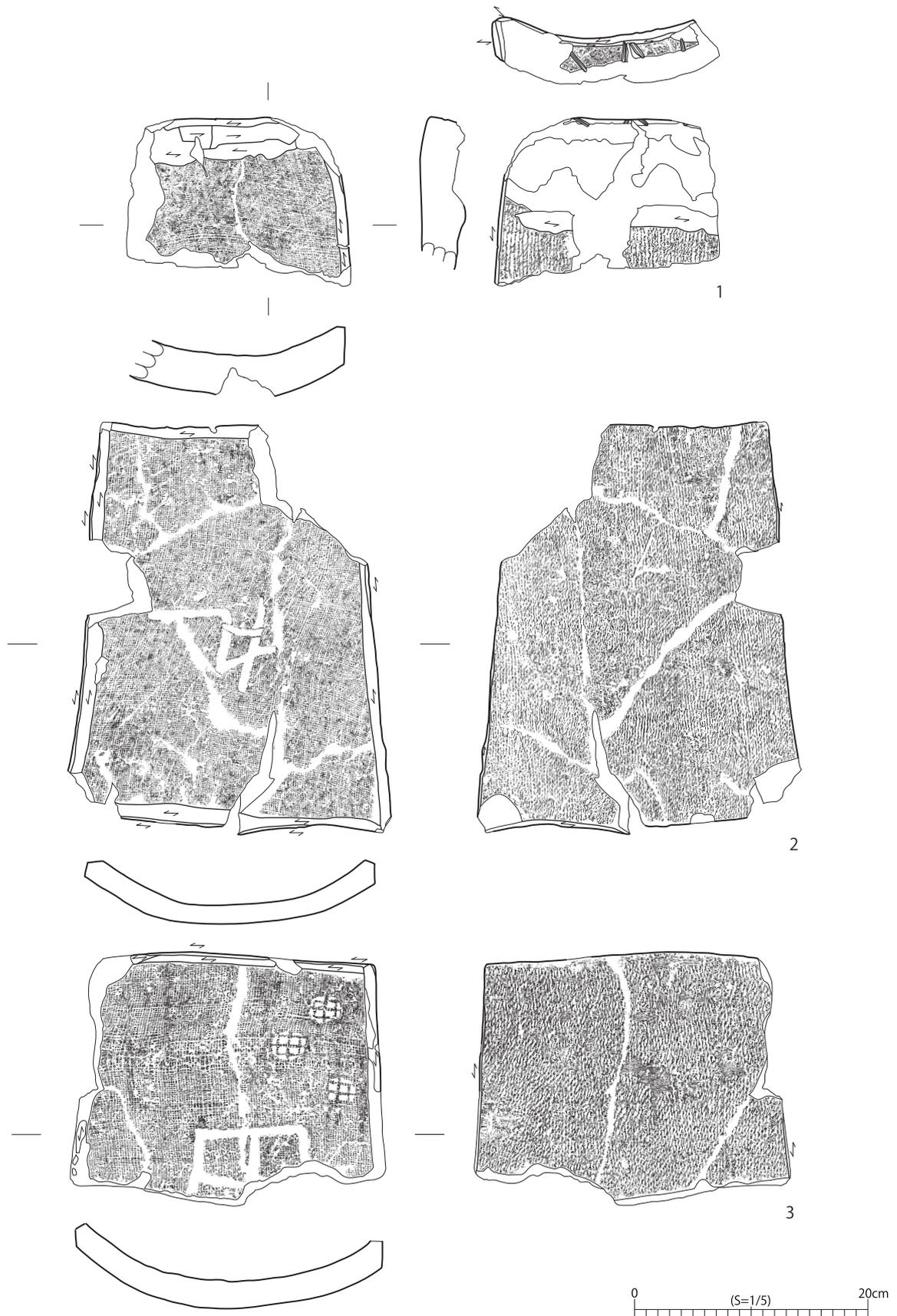
第63図 3号窯跡出土遺物(4)

恵器、大別 12 層から丸瓦・平瓦、大別 13 層から丸瓦・平瓦・須恵器、大別 14 層から平瓦、大別 15 層から丸瓦・平瓦、大別 16 層から丸瓦・平瓦・棟平瓦・土師器、大別 17 層から丸瓦・平瓦棟平瓦・鬼瓦・土師器が出土している。床面直上からは、出土していない。排水溝からは、丸瓦・平瓦・鬼瓦及び、土師器が出土している。鬼瓦は 2・3 層から出土している。



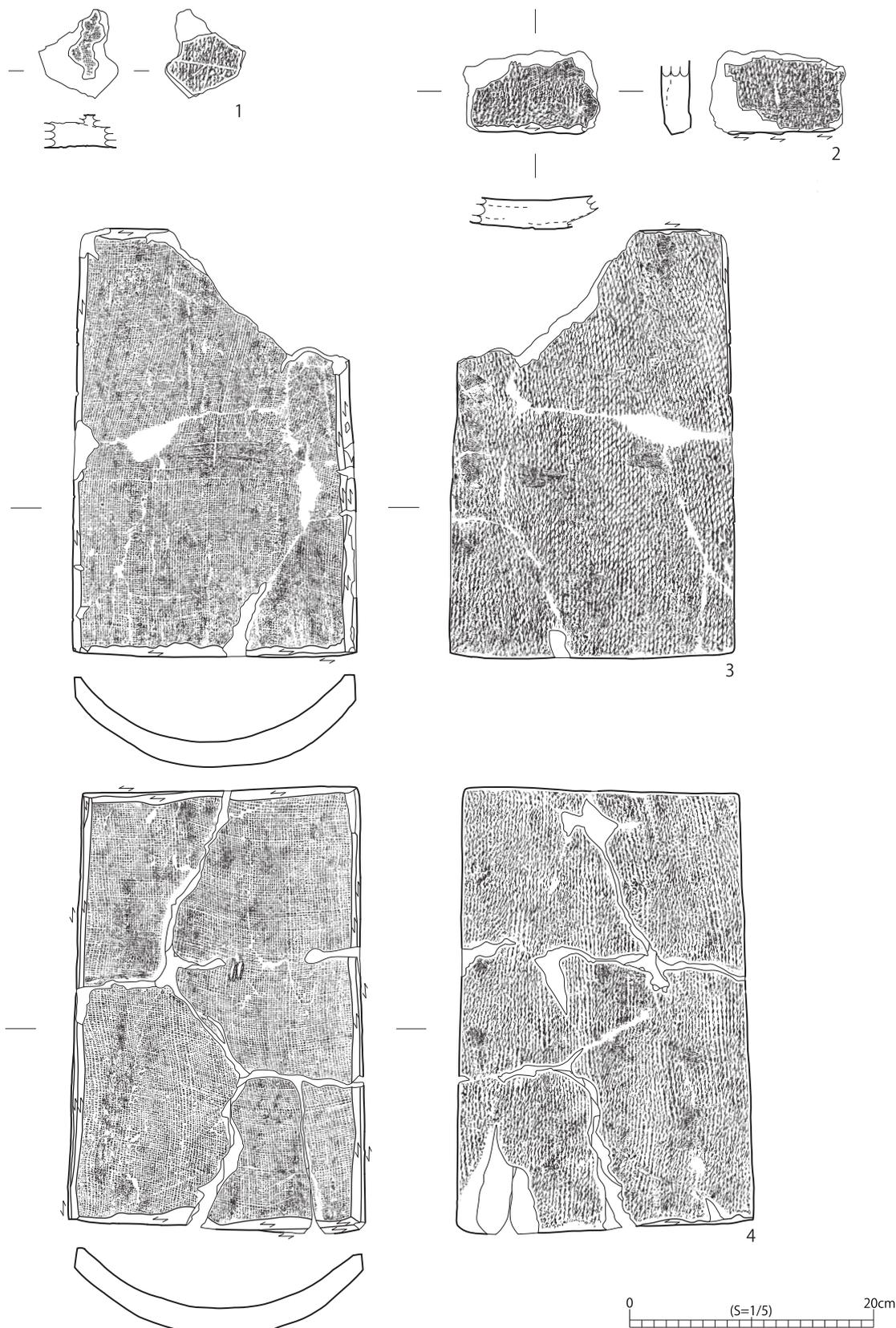
番号	遺構名 クリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	丸瓦	36.0 玉9.8	8.9 (18.2) 玉13.7	15.4 玉11.3	2.0 玉2.4	-	-	凹面：7.5YR 7/4 凸面：5YR 6/4	凹面：粘土組織→布目痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印 $\oplus$	F-023	16-7 98
2	3号窯跡	16	丸瓦	18.4+ 玉1.0+	-	14.6 玉-	2.4 玉-	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：7.5YR 6/2	凹面：粘土組織→布目痕→一部ナデ、圧痕 凸面：縄叩き→ロクロナデ 周縁：側面ヘラケズリ 凹面：不明押印 $\times 2$	F-024	17-1 101
3	3号窯跡	16	軒平瓦	10.8	5.6+	-	-	0.6+	-	瓦当面：7.5YR 5/1 顎面：7.5YR 5/1 凹面：10YR 5/1 凸面：7.5YR 5/1	瓦当面：ヘラケズリ→ヘラ描き沈線 顎面：縄叩き→ヘラ描き沈線 凹面：布目痕→ヘラケズリ、ヘラ描き沈線 凸面：縄叩き→ヘラナデ	G-062	17-3

第64図 3号窯跡出土遺物(5)



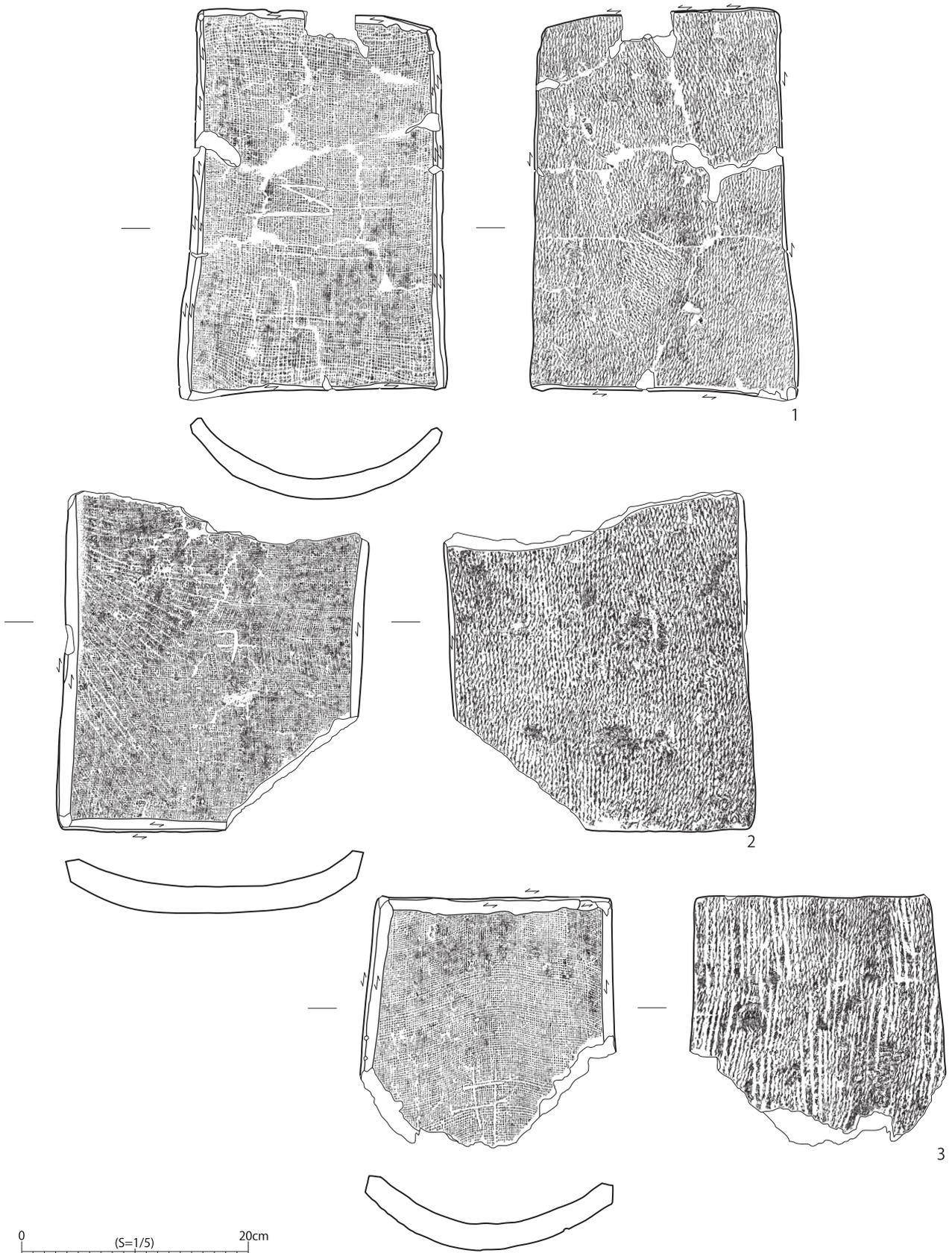
番号	遺構名 クリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	12	軒平瓦	13.6+	10.7+	-	3.7	2.4	-	瓦当面:10YR5/1 凹面:7.5Y 5/1 凸面:10YR5/1	瓦当面:ヘラケズリ→ヘラ描き沈線 顎面:欠損 凹面:布目痕→一部ヘラケズリ 凸面:縄叩き→一部ヘラケズリ 周縁:側面ヘラケズリ	G-063	17-2
2	3号窯跡 3号窯跡灰原	38	平瓦	35.7	21.7 (28.5)	12.4 (22.3)	2.3	-	-	凹面:10YR 6/1 凸面:10YR 6/1	凹面:糸切り痕→布目痕 凸面:縄叩き 周縁:ヘラケズリ 凹面:ヘラ書き「丸」	G-064	17-4 103
3	3号窯跡 灰原	38	平瓦	22.0+	-	20.8 (25.0)	2.5	-	-	凹面:5YR 6/3 凸面:5YR 6/4	凹面:布目痕 凸面:縄叩き→一部ナデ 周縁:側面・狭端面ヘラケズリ 凹面:押印 $\oplus$ ×3 凹面:ヘラ書き「田」	G-065	17-7 100

第65図 3号窯跡出土遺物(6)



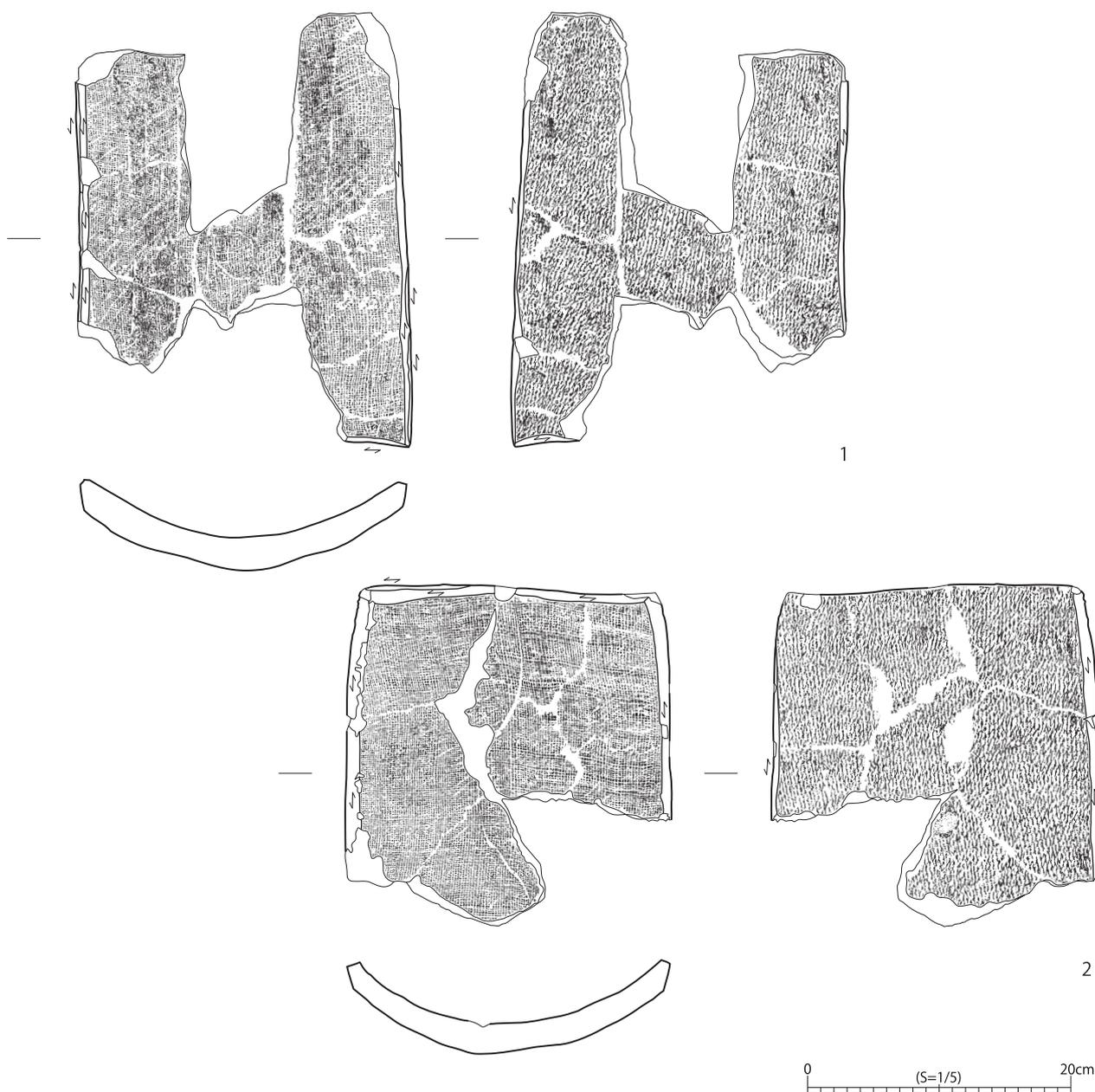
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	29	平瓦	7.3+	6.6+	-	2.6	-	-	凹面：2.5Y 4/1 凸面：2.5R 4/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 断面：たたら粘土貼り合せ痕 凸面：ヘラ書き「大」	G-066	17-5 103
2	3号窯跡	16	平瓦	6.9+	7.0+	-	2.3	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 6/2	凹面：縄叩き→布目痕 凸面：布目痕→縄叩き 凹型台圧痕 断面：たたら粘土貼り合せ痕	G-067	17-6
3	3号窯跡	20	平瓦	35.4	23.3	5.1 (22.0)	2.6	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「キ」	G-068	17-8 105
4	3号窯跡	17	平瓦	36.8	24.4	22.5	2.4	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 6/4	凹面：糸切り痕→布目痕 中央にカギ爪状工具痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「シカ」	G-069	18-1 105

第66図 3号窯跡出土遺物(7)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	34.9	23.3	20.4	2.0	-	-	凹面：5YR 6/3 凸面：5YR 6/3	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「S」	G-070	18-2 105
2	3号窯跡	16	平瓦	30.4+	14.5 (25.8)	-	2.5	-	-	凹面：10R 4/1 凸面：10YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→圧痕 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「七」	G-071	18-3 104
3	3号窯跡	16	平瓦	22.4+	-	20.6	2.3	-	-	凹面：7.5YR 5/2 凸面：7.5YR 5/2	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「井」	G-072	19-1 101

第67図 3号窯跡出土遺物(8)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	33.3	5.0 (25.5)	17.2 (22.6)	2.6	-	-	凹面：5YR 7/4 凸面：5YR 6/4	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「田カ」	G-073	19-2 104
2	3号窯跡	16	平瓦	26.2+	-	22.3	2.3	-	-	凹面：5YR 5/2 凸面：5YR 6/3	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「ノ」	G-074	19-3 105

第68図 3号窯跡出土遺物(9)

【整地層・Ⅲ層黒色化部分の調査】(第57・58図)

窯跡は現状保存となり、整地層・Ⅲ層黒色化部分の調査は窯体を断ち割っていない。窯体を保存するために都市計画道路の設計が変更され、本窯跡の東西に橋脚が設置されることになり、窯体周囲の土層の調査を実施したが、工事の影響を受けるⅢ層被熱範囲の外側のみを調査対象としたため、窯体・掘方・整地層・Ⅲ層黒色化部分相互の関係は明確には把握できなかった。

橋脚は窯体の東側と西側に敷設されることから、橋脚間の四辺のうち東側を除く三辺に①～③トレンチ、焼成部から前庭部を通す中軸延長線上に④トレンチ、②トレンチにそれぞれ直交する⑤トレンチ、焼成部・隔壁部・燃焼部に直交する南北方向に⑥～⑧トレンチを設定した。整地層H・K・Mは、トレンチを設定せず単体で調査した。

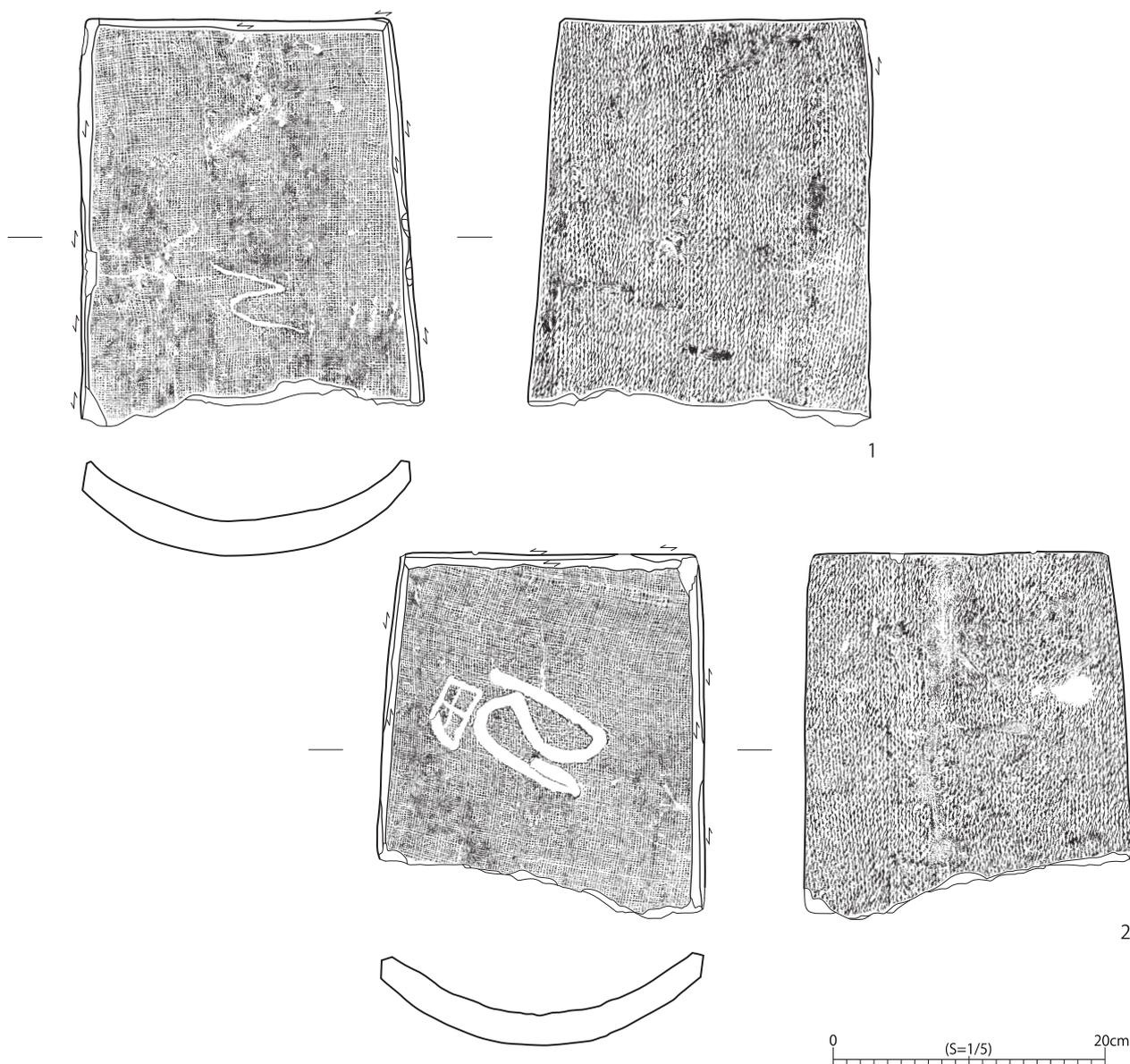
①トレンチ：Ⅲ層を確認した。



番号	遺構名 タリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	34.5	24.9	20.7	2.3	-	-	凹面：7.5YR 6/2 凸面：7.5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕 周縁：ヘラケズリ 凸面：縄叩き 凹面：ヘラ書き「有」	G-075	19-4 102
2	3号窯跡	16	平瓦	37.3	9.5 (23.9)	19.4 (21.5)	3.5	-	-	凹面：5YR 4/1 凸面：7.5YR 4/2	凹面：布目痕→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凸面：縄叩き 凹面：ヘラ書き「大」	G-076	20-1 103

第69図 3号窯跡出土遺物(10)

- ②トレンチ：整地層 A と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ③トレンチ：Ⅲ層黒色化部分および、Ⅲ層を確認した。
- ④トレンチ：整地層 F と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ⑤トレンチ：Ⅲ層黒色化部分および、Ⅲ層を確認した。
- ⑥トレンチ：整地層 J・L と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。
- ⑦トレンチ：整地層 J と、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	30.2+	-	22.4	2.7	-	-	凹面：7.5YR 7/3 凸面：5YR 7/4	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「Z」	G-077	20-2 102
2	3号窯跡	16	平瓦	27.2+	-	21.8	2.4	-	-	凹面：5YR 6/4 凸面：5YR 6/4	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 周縁：側面・狭端面 ヘラケズリ 断面：たたら粘土貼り合せ痕 凹面：ヘラ書き「田」「Z」	G-078	20-3 102

第70図 3号窯跡出土遺物(11)

⑧トレンチ：整地層Ⅰと、その下部のⅢ層黒色化部分を確認した。

**整地層 A**：前庭部の堆積層除去後に確認した。範囲は、長軸 80cm、短軸 50cm、厚さ 10cm の不整楕円形である。

下面は平坦である。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 B**：前庭部の堆積層除去後に確認した。範囲は、長軸 1m、短軸 50cm、厚さ 10cm の不整形である。下面

は凹凸がみられる。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 C**：前庭部の堆積層除去後に確認した。範囲は、長軸 1.1m、短軸 50cm、厚さ 10cm の不整形である。下

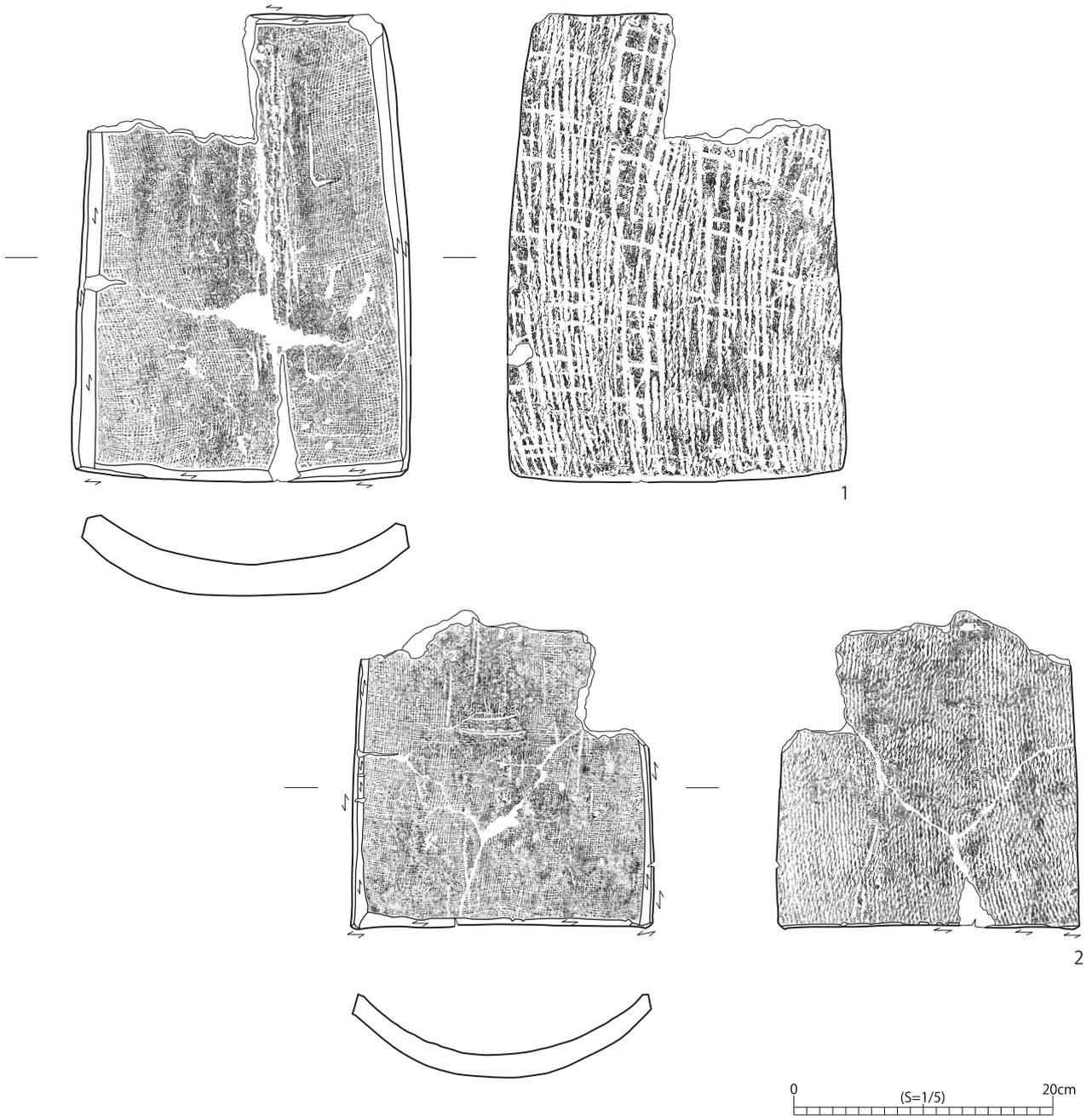
面はほぼ平坦である。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 D**：南側は前庭部の堆積層除去後に確認した。範囲は、長軸 2.5m、短軸 1.6m、厚さ 30cm の不整形であ

る。下面はやや凹凸がみられる。明黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

**整地層 E**：南側は灰原の堆積層除去後に確認した。範囲は、長軸 2.1m、短軸 1.7m、厚さ 20cm の不整形である。

下面はほぼ平坦である。明黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	36.5	25.6	8.0 (22.0)	3.0	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 5/3	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「1」	G-079	21-1 103
2	3号窯跡	16	平瓦	24.8+	23.3	-	1.8	-	-	凹面：5YR 6/2 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕→一部ヘラナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「〒」	G-080	20-4 104

第71図 3号窯跡出土遺物(12)

**整地層 F**：範囲は、長軸 1.9m、短軸 20cm、厚さ 10cm の不整形である。下面は凹凸がみられる。にぶい黄褐色砂質シルトとにぶい黄橙色砂質シルトの互層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 G**：範囲は、長軸 2.1m、短軸 1.6m、厚さ 20cm の不整形である。下面は凹凸が顕著にみられる。淡赤橙色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 H**：平面でのみ確認した。範囲は、長軸 80cm、短軸 50cm の楕円形である。にぶい黄褐色砂質シルトの層で、Ⅲ層を覆う。

**整地層 I**：範囲は、長軸 2.5m、短軸 50cm、厚さ 50cm の不整形である。下面は平坦である。3層に細分され、1層は明黄褐色砂質シルト、2・3層はにぶい黄褐色砂質シルトで、Ⅲ層を覆う。断面の形状から 3号窯



番号	遺構名 クリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	16	平瓦	25.9+	-	15.2 (24.8)	3.3	-	-	凹面：N 5/0 凸面：N 5/0	凹面：布目痕→ナデ 凸面：縄叩き 自然釉 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「本カ」	G-081	21-2 105
2	3号窯跡	13	平瓦	36.4	12.8+	17.3+	2.8	-	-	凹面：7.5YR 5/3 凸面：2.5YR 4/2	凹面：縄叩き→布目痕(二重)→一部ヘラナデ 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「岩カ」	G-082	21-3 103

第72図 3号窯跡出土遺物(13)

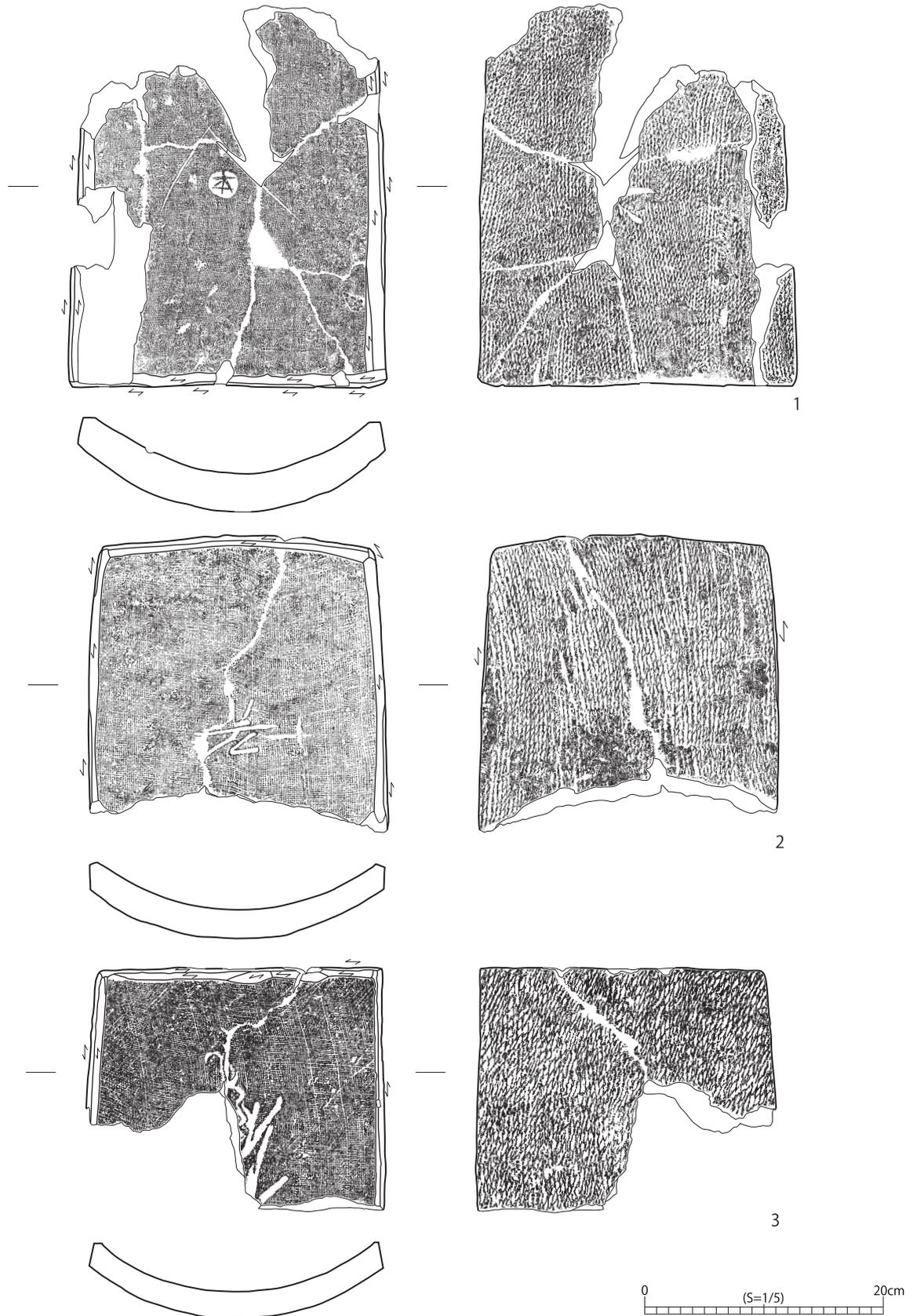
跡の掘方埋土およびその上面の整地である可能性がある。

**整地層 J**：範囲は、長軸 2.1m、短軸 40cm、厚さ 10cm の不整形である。下面は平坦である。褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

**整地層 K**：平面でのみ確認した。範囲は、長軸 2.2m、短軸 1.0m の不整形楕円形である。にぶい黄褐色砂質シルトの層で、Ⅲ層を覆う。

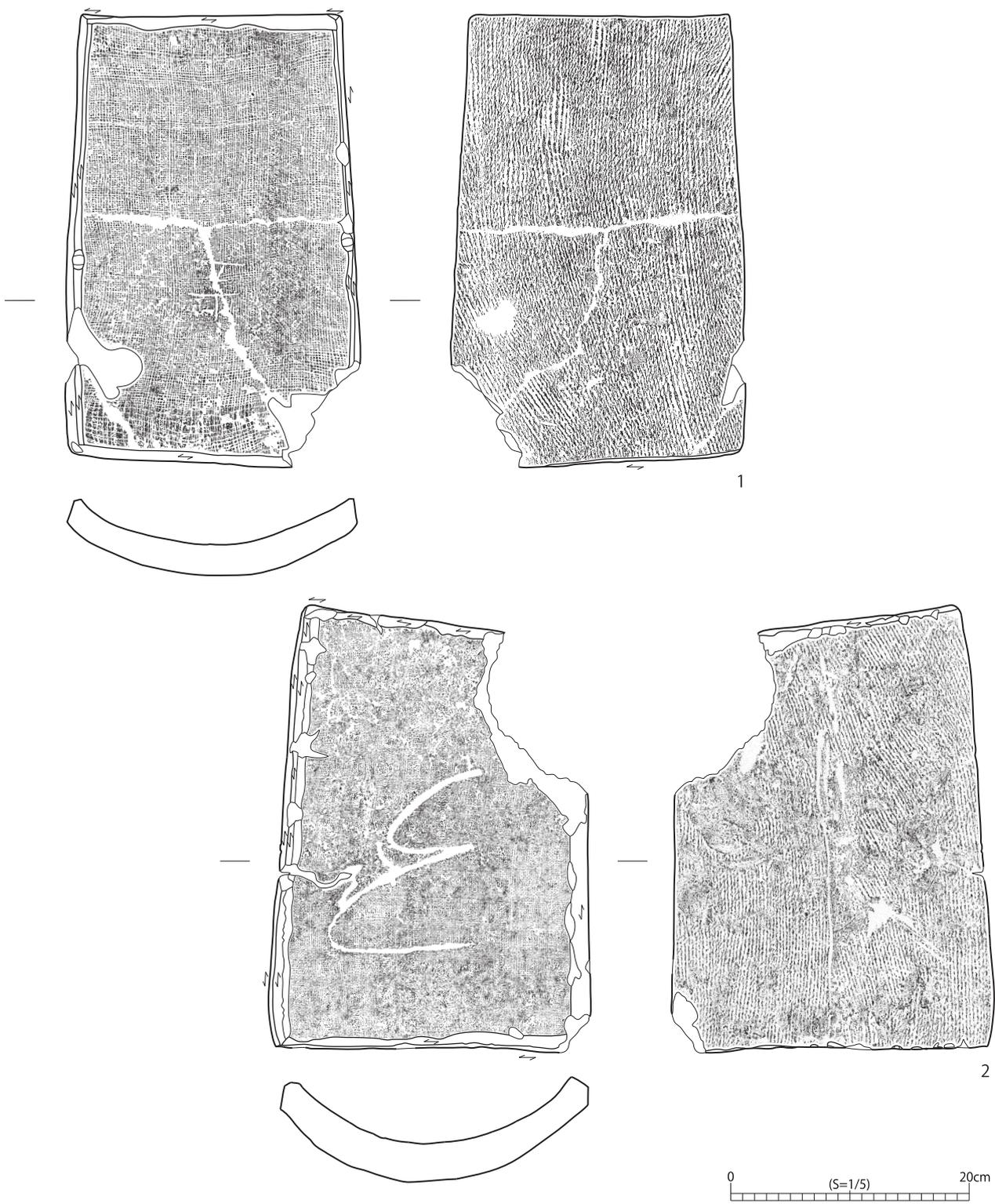
**整地層 L**：範囲は、長軸 4.2m、短軸 30cm、厚さ 20cm の不整形である。下面はほぼ平坦である。にぶい黄褐色砂質シルトの単一層で、Ⅲ層黒色化部分を覆う。

**整地層 M**：平面でのみ確認した。範囲は、長軸 2.6m、短軸 60cm の不整形である。にぶい黄褐色砂質シルトの層で、Ⅲ層を覆う。



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	12	平瓦	32.3+	26.6	-	3.3	-	-	凹面：10YR 4/1 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：押印④ 凹面：ヘラ書き「×」	G-083	22-1 99
2	3号窯跡	12	平瓦	25.2+	-	22.2	2.6	-	-	凹面：2.5YR 5/3 凸面：10R 4/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面にヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「岩カ」	G-084	22-2 103
3	3号窯跡	8a	平瓦	20.7+	-	23.8	2.3	-	-	凹面：7.5YR5/1 凸面：10YR5/1	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：不明押印×5 凹面：ヘラ書き解説不明	G-085	21-4 100

第73図 3号窯跡出土遺物(14)

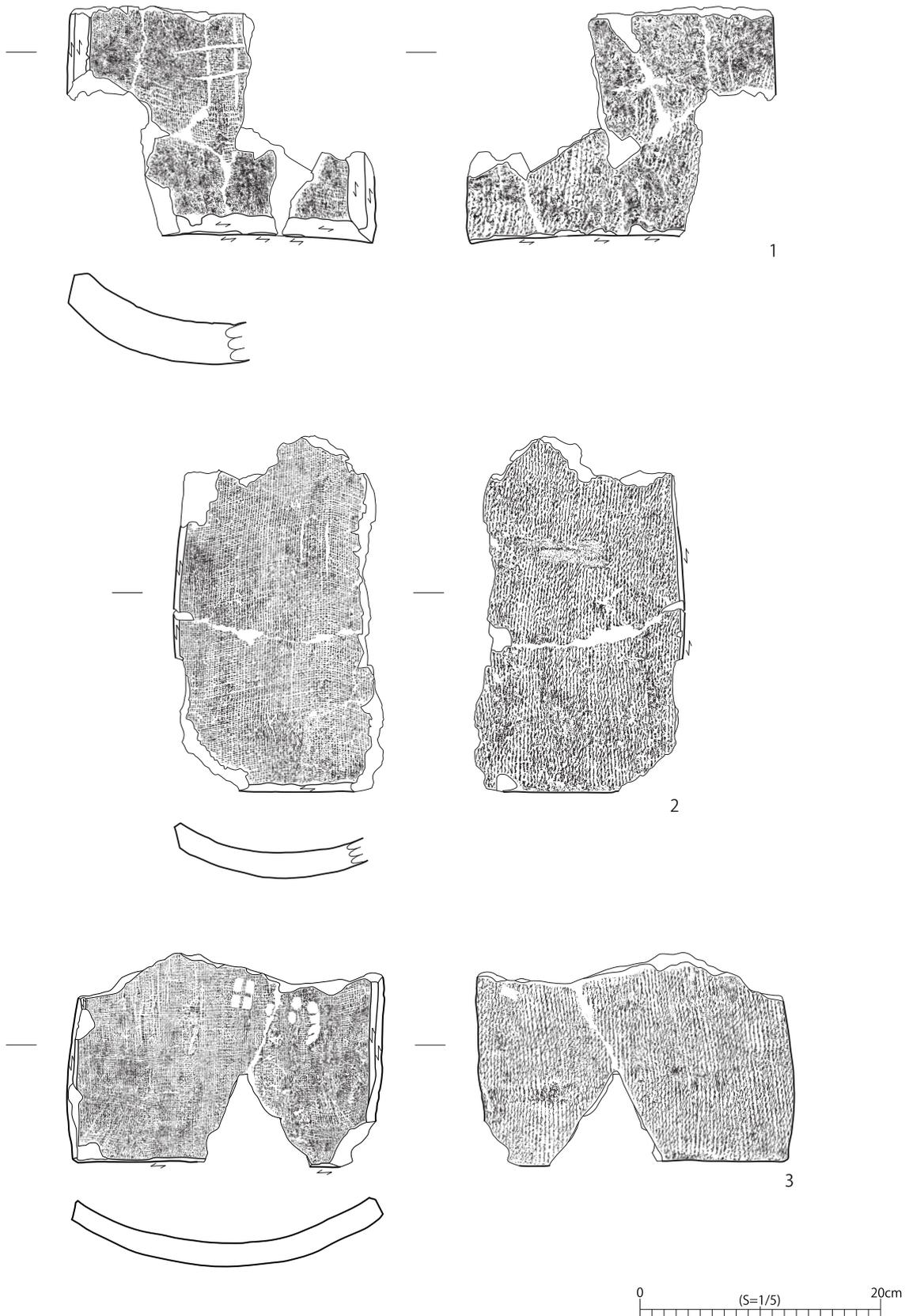


番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	8a	平瓦	38.3	18.0 (24.5)	21.8	2.8	-	-	凹面：7.5YR 6/4 凸面：7.5YR 6/4	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：ヘラケズリ→側面圧痕 凹面：ヘラ書き「上工」	G-086	22-3 105
2	3号窯跡	8a	平瓦	37.9	23.8 (26.4)	16.0 (23.5)	3.3	-	-	凹面：10YR 5/1 凸面：10YR 5/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ヘラケズリ 周縁：ヘラケズリ→広端面圧痕 凹面：ヘラ書き「ろか」	G-087	23-1 106

第74図 3号窯跡出土遺物(15)

4号窯跡 (SO4) (第86～89図・第6表)

【確認状況】 調査区北部の南側斜面、D-5・6グリッドに位置する。Ⅲ層上面で確認した。残存状態は良好で、焼成部・燃焼部・前庭部・灰原を確認した。本窯跡に伴う灰原の西側上部を、5号窯跡に伴う灰原が覆っており、5号窯跡よりも古い。本窯跡と、西側に隣接する5号窯跡の窯体との間隔は2.85mである。本窯跡はⅢ層を掘り込み、



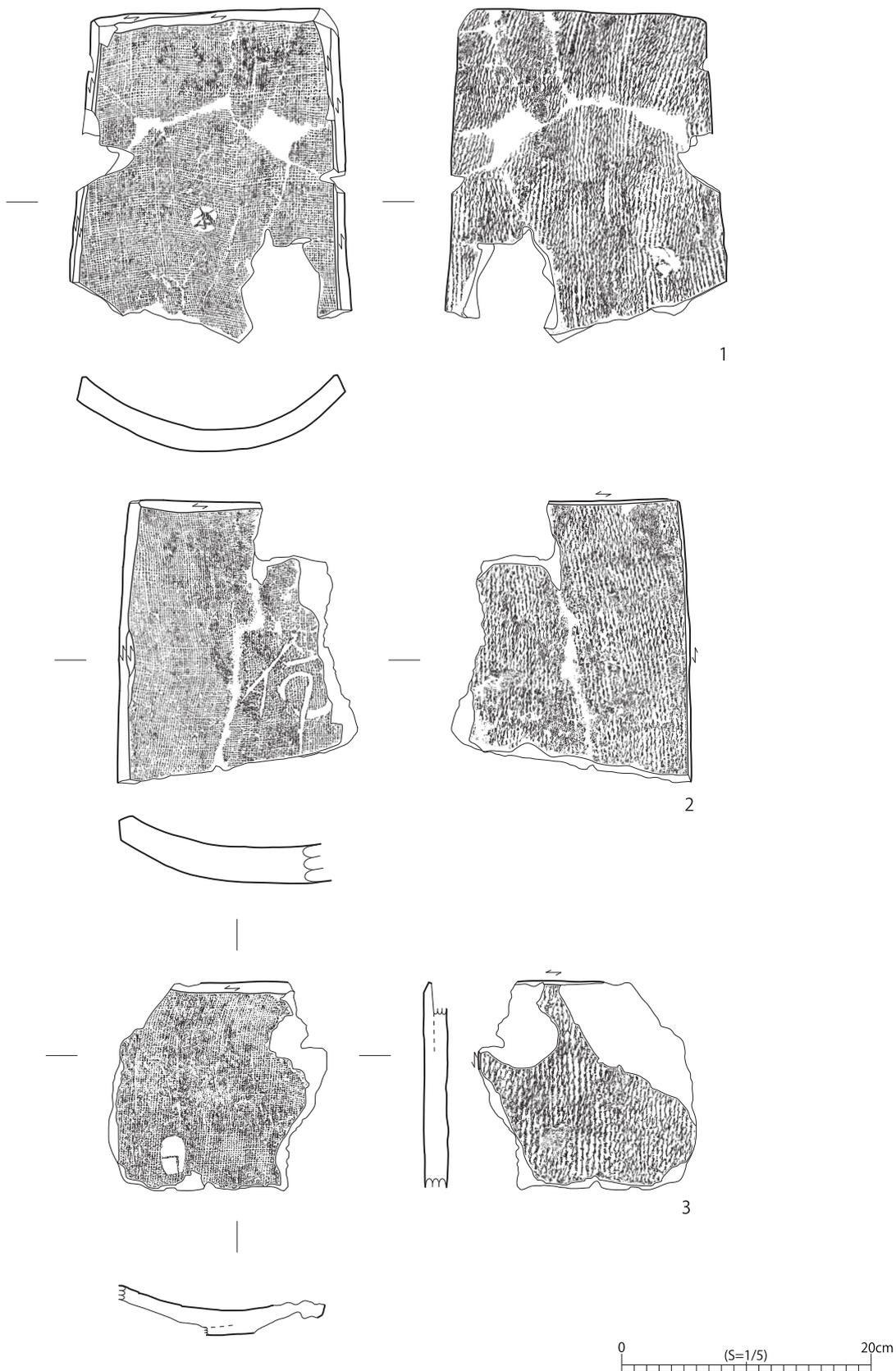
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	8a	平瓦	19.9+	15.4 (25.2)	-	3.5	-	-	凹面：5YR 7/3 凸面：7.5YR 7/3	凹面：布目痕→一部ヘラナデ 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「井」	G-088	22-1 101
2	3号窯跡	8a	平瓦	29.9+	9.5+	-	2.2	-	-	凹面：7.5YR 7/3 凸面：7.5YR 7/3	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「 」、「×」	G-089	23-2 102 104
3	3号窯跡	8a	平瓦	17.9+	22.4 (26.0)	-	2.0	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 7/3	凹面：糸切り痕→布目痕→圧痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・広端面ヘラケズリ 凹面：押印田	G-090	23-4 98

第75図 3号窯跡出土遺物(16)



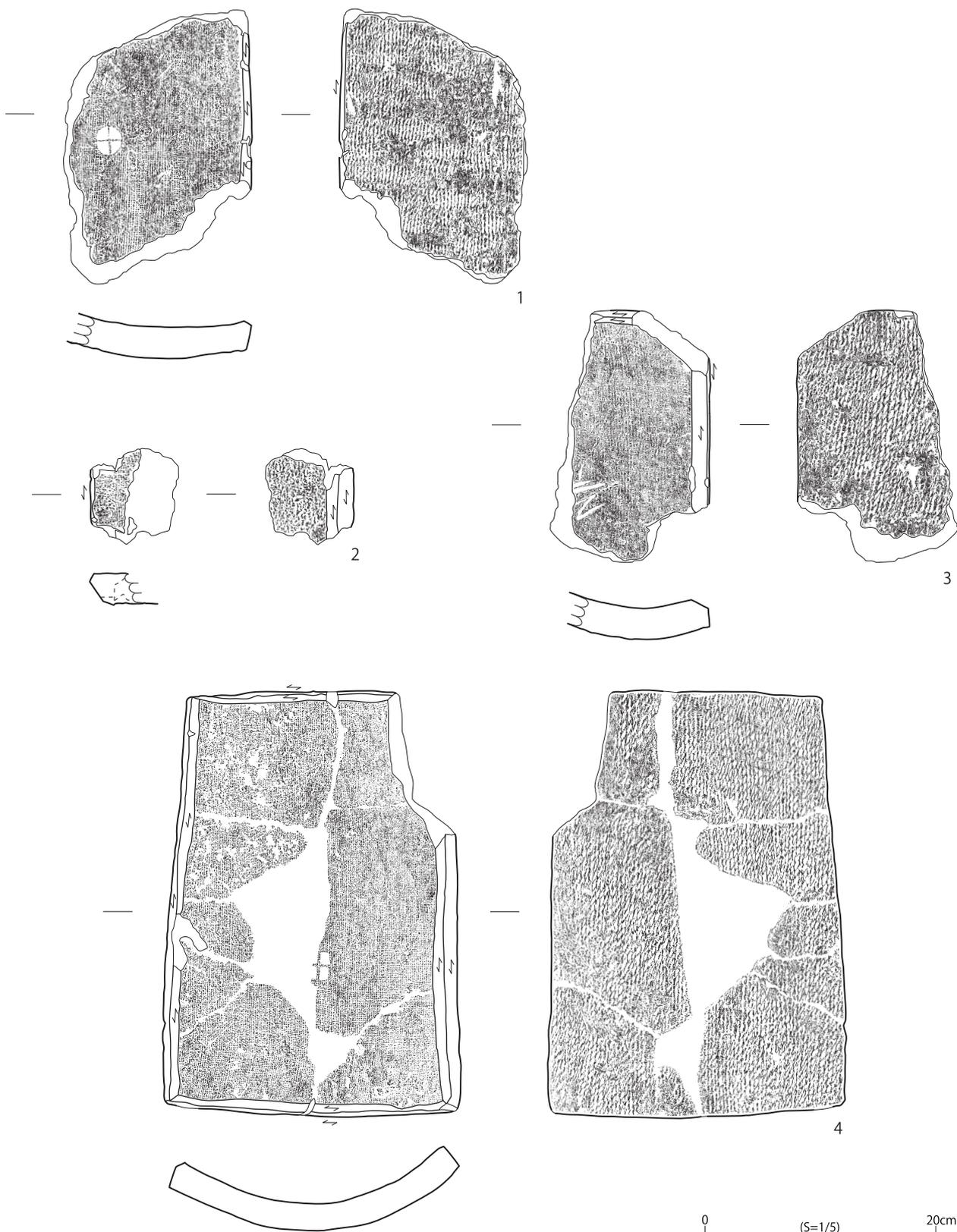
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	8a	平瓦	23.9+	-	7.3+	2.1	-	-	凹面：7.5YR 7/3 凸面：7.5YR 7/3 周縁：ヘラケズリ	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 凹面：押印	G-091	23-3 99
2	3号窯跡	8a	平瓦	29.9	12.5+	13.8+	2.2	-	-	凹面：7.5YR 4/1 凸面：7.5YR 4/1 周縁：ヘラケズリ	凹面：糸切り痕→布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き→一部ヘラナデ 凹面：ヘラ書き「伴」	G-092	23-5 101
3	3号窯跡	8a	平瓦	28.9+	-	13.7+	2.2	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：7.5YR 6/2	凹面：布目痕→一部ナデ 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「女」、ヘラ書き解説不明	G-093	23-6 105

第76図 3号窯跡出土遺物(17)



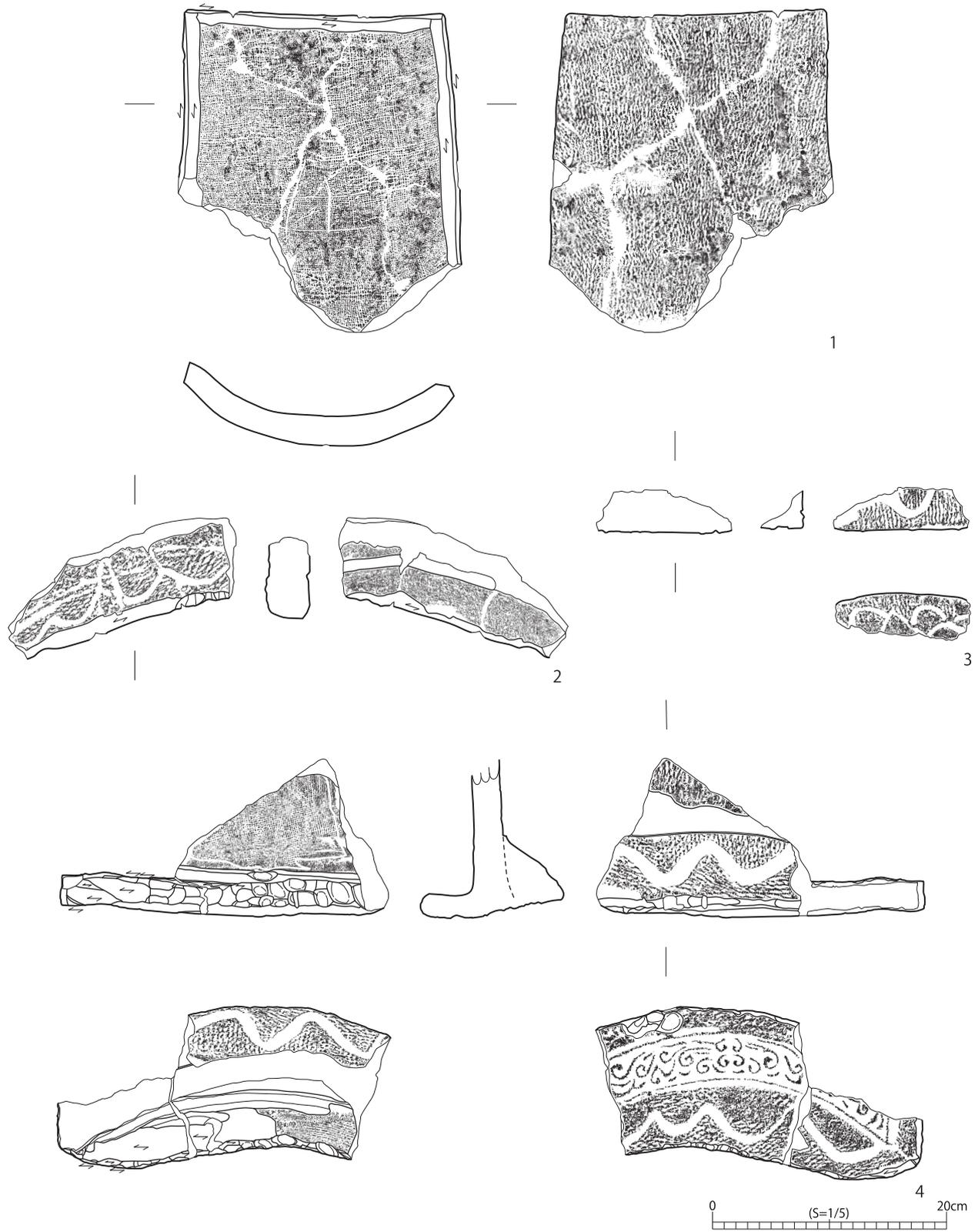
番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	8a	平瓦	27.0+	-	18.3 (19.8)	2.0	-	-	凹面：10Y 4/1 凸面：N 4/0	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：押印㊦	G-094	24-1 99
2	3号窯跡	8a	平瓦	23.0+	-	9.6+	3.0	-	-	凹面：2.5Y 4/1 凸面：2.5Y 4/1	凹面：布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「伊」	G-095	24-3 103
3	3号窯跡	7	平瓦	16.9+	-	9.1+	2.0	-	-	凹面：7.5YR 7/3 凸面：7.5YR 6/4	凹面：布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 断面：たたら粘土貼り合せ痕 凹面：押印㊦	G-096	24-2 100

第77図 3号窯跡出土遺物(18)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	7	平瓦	24.0+	16.2+	-	2.8	-	-	凹面：7.5YR 6/3 凸面：10YR 6/2	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面ヘラケズリ 凹面：押印⊕	G-097	24-4 99
2	3号窯跡	1	平瓦	8.3+	7.3+	-	2.7	-	-	凹面：7.5Y 5/1 凸面：7.5YR 5/1	凹面：布目痕 自然釉 凸面：縄叩き 巖着 周縁：側面ヘラケズリ 断面：たたら粘土貼り合せ痕	G-098	24-5
3	3号窯跡	1	平瓦	22.0+	-	4.1+	2.8	-	-	凹面：7.5YR 6/2 凸面：2.5YR 5/1	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き 周縁：側面・狭端面ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「岩カ」	G-099	24-6 103
4	3号窯跡	1	平瓦	37.3	25.1	18.1 (23.2)	2.6	-	-	凹面：5YR 6/4 凸面：5YR 7/4	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：押印⊕	G-100	24-8 98

第78図 3号窯跡出土遺物(19)



番号	遺構名 グリッド	層位	種別	最大長 (cm)	広端幅 (cm)	狭端幅 (cm)	厚さ (cm)	瓦当面 長(cm)	瓦当面 厚さ(cm)	色調	成形・調整 備考	登録 番号	写真 図版
1	3号窯跡	1	平瓦	27.8+	-	21.7	2.7	-	-	凹面：N 5/0 凸面：N 5/0	凹面：糸切り痕→布目痕 凸面：縄叩き→一部ナデ 周縁：ヘラケズリ 凹面：ヘラ書き「井」	G-101	24-7 101
2	3号窯跡 灰原	38	棟平瓦	3.3+	17.5+	-	-	垂8.6+	垂3.7	垂表面：10YR 5/1 垂裏面：7.5YR 5/1	瓦当面：縄叩き→范、ヘラ描き波状文、下端面圧痕 垂裏面：ハケメ→ヘラナデ→接合面ユビナデ、下端面ヘラケズリ、圧痕	H-004	25-3
3	3号窯跡 灰原	39	棟平瓦	3.7+	11.5	-	-	3.5+	3.7+	瓦当面：10YR 5/1 顎面：5YR 5/1	瓦当面：縄叩き→一部ナデ→ヘラ描き波状文 顎面：縄叩き→ヘラ描き波状文	H-005	25-2
4	3号窯跡	20	棟平瓦	13.5+	19.0+	-	2.4	12.3	垂2.0	瓦当面表：2.5Y 5/1 垂裏面：2.5Y 4/1 顎面：2.5Y 4/1 凹面：10YR 5/1	瓦当面：縄叩き→范、ヘラ描き波状文、上・下端面圧痕 垂裏面：ハケメ→接合面ユビナデ→ヘラケズリ 顎面：縄叩き→ヘラ描き波状文 凹面：布目痕 凸面：縄叩き→ナデ 周縁：側面縄叩き	H-006	25-4

第79図 3号窯跡出土遺物(20)